

(様式第 10)

6 京 医 病 第 9 1 号
平成 2 6 年 1 0 月 3 日

厚生労働大臣 塩崎 恭久 様

京都府公立大学法人
理事長 荒巻 禎一 (印)

京都府立医科大学附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第の規定に基づき、平成 2 5 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒 6 0 2 - 8 5 6 6 京都市上京区河原町通広小路上る梶井町 4 6 5
氏 名	京都府公立大学法人

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

京都府立医科大学府立病院

3 所在の場所

〒 6 0 2 - 8 5 6 6 京都市上京区河原町通広小路上る梶井町 4 6 5 電話(0 7 5) 2 5 1 - 5 1 1 1

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、十六診療科名すべてを標榜 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜
--

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	有 ・ 無
内科と組み合わせた診療科名等 1 消化器内科 2 循環器内科 3 腎臓内科 4 呼吸器内科 5 内分泌・糖尿病・代謝内科 6 血液内科 7 リウマチ科 8 アレルギー科 9 神経内科 (老年内科)	
診療実績	

(注) 1 「内科」欄及び「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「リウマチ科」及び「アレルギー科」についても、「内科と組み合わせた診療科等」欄に記入すること。

(注) 3 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(2) 外科

外科	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
外科と組み合わせた診療科名 1 消化器外科 2 心臓血管外科 3 小児心臓血管外科 4 呼吸器外科 5 内分泌・乳腺外科 6 移植外科 7 小児外科 8 形成外科	
診療実績	

(注) 1 「外科」欄及び「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

<input checked="" type="radio"/> 1精神科 <input checked="" type="radio"/> 2小児科 <input checked="" type="radio"/> 3整形外科 <input checked="" type="radio"/> 4脳神経外科 <input checked="" type="radio"/> 5皮膚科 <input checked="" type="radio"/> 6泌尿器科 <input checked="" type="radio"/> 7産婦人科 8産科 9婦人科 <input checked="" type="radio"/> 10眼科 <input checked="" type="radio"/> 11耳鼻咽喉科 <input checked="" type="radio"/> 12放射線科 13放射線診断科 14放射線治療科 <input checked="" type="radio"/> 15麻酔科 <input checked="" type="radio"/> 16救急科
--

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
歯科と組み合わせた診療科名 1 2 3 4 5 6 7	
歯科の診療体制	

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1 リハビリテーション科 2 病理診断科 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12
--

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
118床	54床	床	床	893床	1,065床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

(平成26年10月1日現在)

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	254人	270.4人	524.4人	看 護 補 助 者	32人	診 療 エ ッ ク ス 線 技 師	3人
歯 科 医 師	5人	22人	27人	理 学 療 法 士	14人	臨 床 検 査 技 師	60人
薬 剤 師	45人	4.8人	49.8人	作 業 療 法 士	6人	衛 生 検 査 技 師	0人
保 健 師	0人	0人	0人	視 能 訓 練 士	10人	そ の 他	0人
助 産 師	0人	0人	0人	義 肢 装 具 士	0人	あ ん 摩 マ ッ サ ー ジ 指 圧 師	0人
看 護 師	735人	30.7人	765.7人	臨 床 工 学 技 士	13人	医 療 社 会 事 業 従 事 者	2人
准 看 護 師	0人	1.4人	1.4人	栄 養 士	3人	そ の 他 の 技 術 員	14人
歯 科 衛 生 士	7人	0人	7人	歯 科 技 工 士	2人	事 務 職 員	95人
管 理 栄 養 士	9人	4.0人	13人	診 療 放 射 線 技 師	39人	そ の 他 の 職 員	21人

- (注) 1 申請前半年以内のある月の初めの日における員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従業者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

(平成26年10月1日現在)

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	19人	眼 科 専 門 医	17人
外 科 専 門 医	51人	耳 鼻 咽 喉 科 専 門 医	12.1人
精 神 科 専 門 医	7人	放 射 線 科 専 門 医	22人
小 児 科 専 門 医	28人	脳 神 経 外 科 専 門 医	8人
皮 膚 科 専 門 医	9.1人	整 形 外 科 専 門 医	28人
泌 尿 器 科 専 門 医	11人	麻 酔 科 専 門 医	18人
産 婦 人 科 専 門 医	11人	救 急 科 専 門 医	5人
		合 計	246.2人

- (注) 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従業者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯 科 等 以 外	歯 科 等	合 計
1日当たり平均入院患者数	627.2人	2.3人	629.6人
1日当たり平均外来患者数	1,282.2人	105.3人	1,387.5人
1日当たり平均調剤数	入院：1,107.1 剤	外来：142.6 剤	
必要医師数			143人
必要歯科医師数			7人
必要薬剤師数			21人
必要(准)看護師数			362人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除し

た数を記入すること。

4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要（准）看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

9 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設 備 概 要			
集中治療室	281.67m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	病床数	12床	心電計	(有)・無
			人工呼吸装置	(有)・無	心細動除去装置	(有)・無
			その他の救急蘇生装置	(有)・無	ペースメーカー	(有)・無
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 [移動式の場合] 台数	61.6m ² 6台	病床数		3床	
医薬品情報管理室	[専用室の場合] [共用室の場合]	床積 共用する室名	37m ²			
化学検査室	211m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備) 生化学自動分析装置、免疫自動分析装置、検体前処理装置、全自動グリコヘモグロビン測定装置、血糖検査機器、多項目自動血球分析装置、凝固検査機器、全自動細胞解析装置			
細菌検査室	99m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備) 安全キャビネット、全自動血液培養検査装置、細菌同定検査装置、薬剤感受性検査装置、抗酸菌遺伝子検査装置、抗酸菌液体培養検査装置、			
病理検査室	284m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備) 脱脂脱水包埋装置、自動染色機、クライオスタット、硬組織用切断機、自動封入機、顕微鏡システム、画像データベース、バーチャルスライドシステム			
病理解剖室	75m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備) L字形ステンレス解剖台、写真撮影装置、ディープフリーザー、消毒装置、マクロ標本棚、体液吸引装置、脱脂脱水包埋装置			
研究室	3,651m ²	鉄骨鉄筋コンクリート 他	(主な設備) 核磁気共鳴装置、スペクトロメーター、画像解析装置、遠心器、マイクローム、光度計、血液分析装置			
講義室	616m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	室数	4室	収容定員	420人
図書室	1,058m ²	鉄骨鉄筋コンクリート 他	室数	27室	蔵書数	14,000冊程度

(注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。

2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

10 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

算定期間		平成25年4月1日～平成26年3月31日	
紹介率	52.3%	逆紹介率	48.5%
算出根拠	A: 紹介患者の数	13,993人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	15,586人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	2,806人	
	D: 初診の患者の数	32,104人	

(注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術	0人
骨髄細胞移植による血管新生療法	8人
末梢血単核球細胞移植による慢性閉塞性動脈硬化症等に対する血管再生治療	0人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術	14人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	5人
角膜ジストロフィーの遺伝子解析	5人
泌尿生殖器腫瘍後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	7人
前眼部三次元画像解析	0人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術	2人
腹腔鏡下子宮体がん根治手術	15人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
腎腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	0人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	0人
術後のホルモン療法及びS-1内服投与の併用療法	0人
慢性心不全に対する和温療法	1人
自己口腔粘膜及び羊膜を用いた培養上皮細胞シートの移植術	0人
パクリタキセル静脈内投与及びカルボプラチン腹腔内投与の併用療法	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	151人	・膿疱性乾癬	13人
・多発性硬化症	76人	・広範脊柱管狭窄症	5人
・重症筋無力症	156人	・原発性胆汁性肝硬変	250人
・全身性エリテマトーデス	625人	・重症急性膵炎	22人
・スモン	2人	・特発性大腿骨頭壊死症	299人
・再生不良性貧血	92人	・混合性結合組織病	116人
・サルコイドーシス	294人	・原発性免疫不全症候群	16人
・筋萎縮性側索硬化症	27人	・特発性間質性肺炎	39人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	369人	・網膜色素変性症	99人
・特発性血小板減少性紫斑病	150人	・プリオン病	1人
・結節性動脈周囲炎	83人	・肺動脈性肺高血圧症	154人
・潰瘍性大腸炎	364人	・神経線維腫症	80人
・大動脈炎症候群	30人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	164人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	6人
・天疱瘡	45人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	11人
・脊髄小脳変性症	69人	・ライソゾーム病	21人
・クローン病	93人	・副腎白質ジストロフィー	4人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	5人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	33人	・脊髄性筋萎縮症	3人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	374人	・球脊髄性筋萎縮症	6人
・アミロイドーシス	65人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	29人
・後縦靭帯骨化症	166人	・肥大型心筋症	173人
・ハンチントン病	2人	・拘束型心筋症	2人
・モヤモヤ病(ウリス動脈輪閉塞症)	47人	・ミトコンドリア病	14人
・ウェゲナー肉芽腫症	42人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	2人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	131人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	2人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	13人	・黄色靭帯骨化症	60人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	1人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、AD H分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、 先端巨大症、下垂体機能低下症)	253人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・特定機能病院入院基本料 (一般)特定機能病院入院基本料 7対1	・救急搬送患者地域連携紹介加算
・(結核)特定機能病院入院基本料 7対1	・救急搬送患者地域連携受入加算
・(精神)特定機能病院入院基本料 13対1	・データ提出加算
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・特定集中治療室管理料
・歯科外来診療環境体制加算	・新生児特定集中治療室管理料1
・歯科診療特別対応連携加算	・小児入院医療管理料2
・臨床研修病院入院診療加算	・小児入院医療管理料4
・救急医療管理加算	・
・超急性期脳卒中加算	・
・妊産婦緊急搬送入院加算	・
・診療録管理体制加算	・
・急性期看護補助体制加算	・
・看護補助加算	・
・重症者等療養環境特別加算	・
・無菌治療室管理加算	・
・緩和ケア診療加算	・
・精神科応急入院施設管理加算	・
・摂食障害入院医療管理加算	・
・がん診療連携拠点病院加算	・
・医療安全対策加算	・
・感染防止対策加算	・
・患者サポート充実加算	・
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・
・ハイリスク妊婦管理加算	・
・ハイリスク分娩管理加算	・
・退院調整加算	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・高度難聴指導管理料	・皮下連続式グルコース測定
・糖尿病合併症管理料	・長期継続頭蓋内脳波検査
・がん性疼痛緩和指導管理料	・神経学的検査
・がん患者指導管理料	・補聴器適合検査
・外来緩和ケア管理料	・コンタクトレンズ検査料1
・糖尿病透析予防指導管理料	・小児食物アレルギー負荷検査
・院内トリアージ実施料	・内服・点滴誘発試験
・夜間休日救急搬送医学管理料	・センチネルリンパ節生検(乳がんに係るものに限る。)
・外来放射線照射診療料	・画像診断管理加算1
・地域包括診療料	・遠隔画像診断
・地域連携診療計画管理料	・ポジトロン断層撮影、ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影、ポジトロン断層・磁気共鳴コンピューター断層複合撮影又は乳房用ポジトロン断層撮影
・がん治療連携計画策定料	・CT撮影及びMRI撮影
・がん治療連携管理料	・冠動脈CT撮影加算
・認知症専門診断管理料	・心臓MRI撮影加算
・薬剤管理指導料	・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・医療機器安全管理料1	・外来化学療法加算1
・医療機器安全管理料2	・無菌製剤処理料
・歯科治療総合医療管理料	・心大血管疾患リハビリテーション料(I)
・造血器腫瘍遺伝子検査	・脳血管疾患等リハビリテーション料(I)
・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・運動器リハビリテーション料(I)
・検体検査管理加算(IV)	・呼吸器リハビリテーション料(I)
・遺伝カウンセリング加算	・認知療法・認知行動療法
・植込型心電図検査	・医療保護入院等診療料
・時間内歩行試験	・エタノールの局所注入(甲状腺に対するもの)
・胎児心エコー法	・一酸化窒素吸入療法
・ヘッドアップティルト試験	・う蝕歯無痛的窩洞形成加算

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・歯科技工加算	・腹腔鏡下小切開副腎摘出術
・皮膚悪性腫瘍切除術(悪性黒色腫センチネルリンパ節加算を算定する場合に限る。)	・体外衝撃波腎・尿管結石破碎術
・頭蓋骨形成手術(骨移動を伴うものに限る。)	・腹腔鏡下小切開腎部分切除術、腹腔鏡下小切開腎摘出術、腹腔鏡下小切開腎(尿管)悪性腫瘍手術
・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)及び脳刺激装置交換術、脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	・腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)
・網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)	・同種死体腎移植術
・人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術	・生体腎移植術
・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療以外の診療に係るものに限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療以外の診療に係るものに限る。)	・膀胱水圧拡張術
・乳がんセンチネルリンパ節加算1、乳がんセンチネルリンパ節加算2	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)	・人工尿道括約筋植込・置換術
・経皮的中隔心筋焼灼術	・腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	・医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6(歯科点数表第2章第9部の通則4を含む。)に掲げる手術
・植込型心電図記録計移植術及び植込型心電図記録計摘出術	・輸血管管理料 I
・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術	・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
・植込型除細動器移植術、植込型除細動器交換術及び経静脈電極抜去術(レーザーシースを用いるもの)	・内視鏡手術用施設機器加算
・両室ペースメーカー機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペースメーカー機能付き植込型除細動器交換術	・歯周組織再生誘導手術
・大動脈バルーンポンピング法(IABP法)	・手術時歯根面レーザー応用加算
・補助人工心臓	・麻酔管理料(I)
・経皮的動脈遮断術	・麻酔管理料(II)
・ダメージコントロール手術	・放射線治療専任加算
・体外衝撃波胆石破碎術	・外来放射線治療加算
・腹腔鏡下肝切除術	・高エネルギー放射線治療
・生体部分肝移植術	・定位放射線治療
・同種死体肝移植術	・病理診断管理加算
・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・同種死体膵移植術、同種死体膵腎移植術	・歯科矯正診断料
・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・ 胎児心超音波検査	・
・ 悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	・
・ 膀胱尿管逆流症及び巨大尿管症に対する腹腔鏡下膀胱内手術	・
・ 内視鏡的大腸粘膜下層剥離術	・
・ 先天性難聴の遺伝子診断	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。

(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	1箇月に12回程度開催
剖 検 の 状 況	剖検症例数 22 例 / 剖部検率 10.30%

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
大脳・延髄ネットワークをターゲットとした新規嚥下障害治療法の開発	山脇 正永	総合診療部	1,300,000	補○委 日本学術振興会
地理情報システム(GIS)を用いた在宅医療における有床診療所の役割に関する研究	山脇 正永	総合診療部	2,480,000	補○委 厚生労働省
食道扁平上皮癌における細胞極性制御因子P A R-3 遺伝子欠失の機能解析	安居 幸一郎	消化器内科	1,040,000	補○委 日本学術振興会
ナイーブTリンパ球の特性を考慮した新規複合免疫療法の開発	石川 剛	消化器内科	1,560,000	補○委 日本学術振興会
組み込みH B Vをターゲットとした肝癌細胞増殖制御	南 祐仁	消化器内科	1,560,000	補○委 日本学術振興会
糖尿病合併症の発症を予防する食品因子の探索とその作用機序解明	伊藤 友子	消化器内科	1,040,000	補○委 日本学術振興会
虚血再灌流障害に対するプレおよびポストコンディショニング効果発現差異の解明	鎌田 和浩	消化器内科	1,560,000	補○委 日本学術振興会
アザチオプリン血中濃度予測バイオマーカーとしてのS L C 3 8 A 9 : 機能・有用性解析	内山 和彦	消化器内科	2,210,000	補○委 日本学術振興会
非アルコール性脂肪性肝疾患の脂質鉄代謝異常に関する新たな解析	光吉 博則	消化器内科	1,430,000	補○委 日本学術振興会
肝癌の増殖と肝再生におけるA p g-2の意義	伊藤 義人	消化器内科	1,560,000	補○委 日本学術振興会
H s p 2 7とS P A R C蛋白質の同定・機能解析と大腸癌における意義解明	内藤 裕二	消化器内科	1,950,000	補○委 日本学術振興会
H0-1/C0系を基軸とした抗炎症性マクロファージ誘導と腸管炎症制御機構の解明	高木 智久	消化器内科	1,690,000	補○委 日本学術振興会
脂肪肝炎における脂肪化肝細胞の免疫原性及び肝内浸潤制御性T細胞についての検討	山口 寛二	消化器内科	1,950,000	補○委 日本学術振興会
食道癌の増幅遺伝子S O X 2のA K T経路を介した腫瘍増殖機序の解明と治療への応用	玄 泰行	消化器内科	1,820,000	補○委 日本学術振興会
大腸がん予防が期待される食品由来因子の新しい評価系と応用	東村 泰希	消化器内科	1,170,000	補○委 日本学術振興会
消化管狭窄におけるNox4由来活性酸素シグナルによる線維化機構の解明と治療応用	井上 健	消化器内科	1,950,000	補○委 日本学術振興会
がん免疫治療のサロゲートマーカーの確立、並びに効果増強手段としての温熱療法の検討	岡山 哲也	消化器内科	1,430,000	補○委 日本学術振興会
がん免疫治療のサロゲートマーカーの確立、並びに効果増強手段としての温熱療法の検討	岡山 哲也	消化器内科	1,210,000	補○委 日本学術振興会
消化管機能分子と血清タンパク質の系統的解析による抗糖尿病機能性糖鎖の開発	内藤 裕二	消化器内科	24,050,000	補○委 独立行政法人科学技術振興機構

小計

ケルセチン・イソフラボンの生活習慣病予防機能の科学的エビデンス強化と高含有農作物の作出	吉川 敏一	消化器内科	76,532,000	補委○	農林水産省
血中ペルオキシレドキシニン6のメチルグリオキザールによる翻訳後修飾を標的とした糖尿病合併症の早期診断法の開発	伊藤 友子 (大矢友子)	消化器内科	2,000,000	補委○	独立行政法人科学技術振興機構
早期診断マルチバイオマーカー	八木 信明	消化器内科	12,000,000	補委○	文部科学省
個人に適した効果的な摂取条件等を特定する手法の開発及び摂取条件等を普及するためのモデル体制の構築(タマネギ)	吉川 敏一	消化器内科	7,000,000	補委○	農林水産省
血中タンパク質の翻訳後修飾を指標とした糖尿病合併症早期診断法の開発	伊藤 友子	消化器内科	504,790	補委○	独立行政法人科学技術振興機構
無意識生体計測&検査によるヘルスケアシステムの開発	中西 守	消化器内科	14,752,000	補委○	文部科学省
カロテノイド類の生体調節機能に着目した抗メタボ食品提供技術の開発とその効果の実証研究	高木 智久	消化器内科	45,544,000	補委○	文部科学省
MURCによる心筋細胞のカベオラとトランスポートソームの制御機構の解明	上山 知己	循環器内科	1,560,000	補委○	日本学術振興会
新規遺伝子ARIAによる血管新生・血管発生制御機構の解明と虚血性疾患への治療応用	池田 宏二	循環器内科	650,000	補委○	日本学術振興会
肺高血圧症の新規治療ターゲット、筋特異的カベオラタンパクMURCの機能解析	小形 岳寛	循環器内科	1,820,000	補委○	日本学術振興会
血管周囲脂肪の胎児プログラミングによる遺伝子発現調節を標的とした動脈硬化予防戦略	山田 浩之	循環器内科	1,040,000	補委○	日本学術振興会
心不全の基礎疾患と病期を考慮した新しい包括的心不全治療法の開発	浅沼 博司	循環器内科	1,690,000	補委○	日本学術振興会
LPS惹起肺水腫におけるHGFによる回復機構	岩崎 吉伸	呼吸器内科	130,000	補委○	日本学術振興会
加齢指標蛋白質SMP30の糖尿病合併症発症における役割	長谷川 剛二	内分泌・糖尿病・代謝内科	1,300,000	補委○	日本学術振興会
アンドロゲン低下によるインスリン抵抗性惹起機構の解明	福井 道明	内分泌・糖尿病・代謝内科	1,560,000	補委○	日本学術振興会
白血病における骨髄微小環境誘導性ガレクチン-3の機能解析と新規分子標的治療の開発	黒田 純也	血液内科	1,170,000	補委○	日本学術振興会
血液腫瘍におけるPVT1再構成と相手遺伝子の分子細胞遺伝学的解析ならびに臨床応用	谷脇 雅史	血液内科	2,860,000	補委○	日本学術振興会
CMLのオートクライン・パラクラインによる増殖メカニズムの解明と治療的制御の開発	杉谷 未央	血液内科	2,210,000	補委○	日本学術振興会
関節リウマチにおけるスフィンゴシン1リン酸レセプター3(S1P3)の働き	河野 正孝	膠原病・リウマチ・アレルギー科	1,820,000	補委○	日本学術振興会
関節リウマチの病態に関与する骨髄細胞の解析と新規治療法の開発	川人 豊	膠原病・リウマチ・アレルギー科	1,560,000	補委○	日本学術振興会
我が国における関節リウマチ治療の標準化に関する多層的な研究	川人 豊	膠原病・リウマチ・アレルギー科	900,000	補委○	厚生労働省

小計

危険因子を同定する検診制度導入によるリウマチ制圧プロジェクト	川人 豊	膠原病・リウマチ・アレルギー科	1,000,000	補○委	厚生労働省
わが国で発見された感覚障害を伴う家族性運動ニューロン病の海外学術調査と病態解明	中川 正法	神経内科(老年内科)	4,030,000	補○委	日本学術振興会
アルファ・シヌクレインオリゴマーの物性・細胞毒性機序の解明と分子標的治療への応用	徳田 隆彦	神経内科(老年内科)	1,170,000	補○委	日本学術振興会
ミラーセラピーによる脳梗塞急性期の可塑的修復過程のメカニズムの解明	近藤 正樹	神経内科(老年内科)	1,300,000	補○委	日本学術振興会
変異GFAP遺伝子導入アレキサンダー病疾患モデルに対する薬剤効果研究	吉田 誠克	神経内科(老年内科)	1,950,000	補○委	日本学術振興会
q space imaging の認知症への臨床応用	牧野 雅弘	神経内科(老年内科)	780,000	補○委	日本学術振興会
iPS細胞から分化誘導したアストロサイトをを用いたアレキサンダー病の病態解明	中川 正法	神経内科(老年内科)	1,170,000	補○委	日本学術振興会
脳梗塞急性期血圧の新規関連因子であるアロスタティック負荷と血管内皮機能障害の解明	富井 康宏	神経内科(老年内科)	1,560,000	補○委	日本学術振興会
アルファ・シヌクレインの神経毒性及びプリオン様伝播の分子機構の解明とその臨床応用	建部 陽嗣	神経内科(老年内科)	1,430,000	補○委	日本学術振興会
脊髄損傷後の大脳皮質での神経回路の可塑性における逆行性軸索輸送の機能の解明	大原 亮	神経内科(老年内科)	1,430,000	補○委	日本学術振興会
希少難治性神経疾患の疫学、病態解明、診断・治療法の開発に関する研究	中川 正法	神経内科(老年内科)	3,900,000	補○委	厚生労働省
消化器癌患者の血漿中遊離核酸を用いたテーラーメイド個別化バイオマーカーの開発	岡本 和真	消化器外科	650,000	補○委	日本学術振興会
5-ALA投与後蛍光観察による胃癌手術中の新しいリンパ節転移診断法の開発	中西 正芳	消化器外科	1,040,000	補○委	日本学術振興会
消化器癌における新規癌関連遺伝子DTLの癌化機構の解明と臨床応用	當麻 敦史	消化器外科	1,560,000	補○委	日本学術振興会
食道癌に対するテーラーメイド分子標的放射線療法法の基礎的研究	藤原 斉	消化器外科	2,080,000	補○委	日本学術振興会
胃癌の新しい癌抑制遺伝子RUNX3の細胞分化・癌化機構の解明と診断・治療への応用	阪倉 長平	消化器外科	2,210,000	補○委	日本学術振興会
食道癌におけるアダプター蛋白XB130とシスチン輸送体xCTの分子間相互作用解析	塩崎 敦	消化器外科	2,080,000	補○委	日本学術振興会
ゲノム構造解析による食道癌の新規癌関連遺伝子の同定と臨床応用	小松 周平	消化器外科	1,430,000	補○委	日本学術振興会
胃癌における細胞外non-coding RNAの包括的解析と治療応用への展開	小西 博貴	消化器外科	2,080,000	補○委	日本学術振興会
膵癌腹膜播種に対する新規診断法ならびに新規治療法の開発	村山 康利	消化器外科	2,210,000	補○委	日本学術振興会
血漿中のIPMN関連miRNAを指標とした早期膵癌診断法の開発	森村 玲	消化器外科	1,430,000	補○委	日本学術振興会

小計

細胞周期制御におけるカリウム／クロライド共輸送体の役割の解明	北川 真希	消化器外科	1,000,000	補○ 委	日本学術振興会
5-アミノレブリン酸(5-ALA)とランタニドナノ粒子(LNP)併用による深部微小癌局在診断技術の構築	大辻 英吾	消化器外科	22,350,000	補 委○	独立行政法人科学技術振興機構
新しいステントレス僧帽弁の開発：臨床応用に向けて	夜久 均	心臓血管外科	4,290,000	補○ 委	文部科学省
自己完結型心臓移植に向けた脱細胞化技術を用いた新生心臓の作出	五條 理志	心臓血管外科	4,680,000	補○ 委	日本学術振興会
DIY再生医療を用いて『患者体内で作る』CABG用バイオチューブ代替血管の開発	神田 圭一	心臓血管外科	7,670,000	補○ 委	日本学術振興会
MRIを用いた虚血性心筋症術後の心事故関連因子の検討	大川 和成	心臓血管外科	435,786	補○ 委	日本学術振興会
ポリテトラフルオロエチレン超薄型肺動脈弁と洞付き人工血管の開発	山岸 正明	心臓血管外科	1,820,000	補○ 委	日本学術振興会
先天性心疾患外科治療におけるポリテトラフルオロエチレン製肺動脈代替弁の研究	宮崎 隆子	心臓血管外科	1,560,000	補○ 委	日本学術振興会
体性細胞から成熟心筋細胞への分化誘導法の構築	五條 理志	心臓血管外科	1,170,000	補○ 委	日本学術振興会
患者の体内で自家組織から形成する『微小脈管再建用無吻合バイオチューブ』の開発	渡辺 太治	心臓血管外科	1,560,000	補○ 委	日本学術振興会
異種動物バイオチューブマトリックスを用いた二段階生体内組織形成技術の開発	神田 圭一	心臓血管外科	2,210,000	補○ 委	日本学術振興会
患者自身の皮下で簡便に作成できる自己の結合組織からなる小口径代替血管の開発	山南 将志	心臓血管外科	1,690,000	補○ 委	日本学術振興会
患者の体内で自家組織から形成する『微小脈管再建用無吻合バイオチューブ』の開発	渡辺 太治	心臓血管外科	1,238,069	補○ 委	日本学術振興会
患者自身の皮下で簡便に作成できる自己の結合組織からなる小口径代替血管の開発	山南 将志	心臓血管外科	1,724,758	補○ 委	日本学術振興会
患者が自己体内で作製する自家結合組織小口径代替血管の応用	渡辺 太治	心臓血管外科	1,400,000	補 委○	独立行政法人科学技術振興機構
超細径カメラを用いた冠動脈バイパス術の標的血管性状の評価と患者の予後予測法の確立	夜久 均	心臓血管外科	1,500,000	補 委○	独立行政法人科学技術振興機構
生体内で作製する結合組織小口径代替血管の同種・異種グラフトへの応用	渡辺 太治	心臓血管外科	1,700,000	補 委○	独立行政法人科学技術振興機構
デスクトップ画面共有を活用したユビキタス画像読影トレーニングシステムの構築	伊藤 和弘	呼吸器外科	1,170,000	補○ 委	日本学術振興会
肺癌の薬剤耐性に関わるパクリタキセル標的分子のプロテオーム解析法による同定	下村 雅律	呼吸器外科	2,340,000	補○ 委	日本学術振興会
エネルギーデバイスを用いた切離における組織補強素材の検討	島田 順一	呼吸器外科	648,900	補○ 委	日本学術振興会
多孔質高分子樹脂を用いた低侵襲手術における剥離機器の改良・開発	島田 順一	呼吸器外科	21,046,443	補 委○	近畿経済産業局

小計

カペシタビンによる手足症候群に対するウルシル外用剤の有効性に関する検討	田口 哲也	内分泌・乳腺外科	1,040,000	補○委	日本学術振興会
カペシタビンによる手足症候群に対するウルシル外用剤の有効性に関する検討	田口 哲也	内分泌・乳腺外科	871,502	補○委	日本学術振興会
臓器移植におけるマイクロキメリズム誘導を目指したIL-10メカニズムの解明	吉村 了勇	移植・一般外科	1,170,000	補○委	日本学術振興会
低出力超音波パルスによる腎尿細管細胞再生促進法の開発	牛込 秀隆	移植・一般外科	1,430,000	補○委	日本学術振興会
ケロイドに対する新規分子標的併用療法の開発	西野 健一	形成外科	1,430,000	補○委	日本学術振興会
発生学的由来による脂肪組織幹細胞の多様性の解明とそれに基づく再生医療応用の探索	素輪 善弘	形成外科	1,430,000	補○委	日本学術振興会
リンパ浮腫治療法開発のための脂肪由来幹細胞に関する基礎的研究	西野 健一	形成外科	1,885,292	補○委	日本学術振興会
非侵襲的分子画像を用いたヒト大脳基底核障害における神経回路制御機構の解析	笹島 浩泰	脳神経外科	2,340,000	補○委	日本学術振興会
芸術的アプローチ(漫画)を用いた医療イノベーション戦略研究	古野 優一	脳神経外科	859,240	補○委	日本学術振興会
ストレス応答機構を軸とした変形性関節症に対する分子標的治療の新展開	久保 俊一	整形外科	5,980,000	補○委	日本学術振興会
拡散テンソル法を用いた末梢神経再生に対する非侵襲的診断法の確立にむけた基礎的研究	小田 良	整形外科	1,690,000	補○委	日本学術振興会
ビスホスフォネートと放射線併用療法による臨床応用へ向けた骨軟部肉腫治療法の開発	村田 博昭	整形外科	1,820,000	補○委	日本学術振興会
多血小板血漿と生体吸収性材料を用いた脊椎固定術の開発 —臨床応用への橋渡し研究—	池田 巧	整形外科	1,820,000	補○委	日本学術振興会
グルココルチコイドによる髄鞘形成機構の解明および髄鞘形成誘導を介した神経再生促進	藤原 浩芳	整形外科	1,950,000	補○委	日本学術振興会
遺伝子多型解析によるステロイド性大腿骨頭壊死症の予防法の開発	井上 重洋	整形外科	1,820,000	補○委	日本学術振興会
mTOR阻害による寿命延長効果を応用した新規椎間板再生法の確立	三上 靖夫	整形外科	1,560,000	補○委	日本学術振興会
肩腱板修復における骨髄由来細胞の分化の解明	森原 徹	整形外科	1,690,000	補○委	日本学術振興会
ミオスタチンの制御による新しいOA治療法の開拓	新井 祐志	整形外科	1,690,000	補○委	日本学術振興会
軟骨におけるストレス応答機構と概日リズムとのクロストークの解明	久保 俊一	整形外科	1,560,000	補○委	日本学術振興会
光触媒と超音波を用いた異物に起因する感染症の撲滅	吉田 隆司	整形外科	2,470,000	補○委	日本学術振興会
骨の体内時計の同調機構の解明	南 陽一	整形外科	2,210,000	補○委	日本学術振興会

小計

ラマン分光顕微鏡を用いた新たな末梢神経再生評価法の検討	森崎 真介	整形外科	1,430,000	補○委	日本学術振興会
子宮内膜症性卵巣嚢胞からの悪性転化組織を用いた遺伝子変異と異常発現の解析	北脇 城	産婦人科	780,000	補○委	日本学術振興会
子宮体癌におけるEMT機構の解明とこれを標的とする新たな内分泌療法の意義の確立	森 泰輔	産婦人科	2,080,000	補○委	日本学術振興会
角膜上皮細胞の細胞特性を規定するコア転写因子群の同定	木下 茂	眼科	3,250,000	補○委	日本学術振興会
SJS/TENの発症機序解明および発症予測に向けた国際的研究	外園 千恵	眼科	6,630,000	補○委	日本学術振興会
加齢黄斑変性における網膜色素上皮細胞の危機感知機能の解析	羽室 淳爾	眼科	650,000	補○委	日本学術振興会
1000Kチップでの落屑緑内障ゲノムワイド関連解析による日本人固有SNPの同定	池田 陽子	眼科	1,560,000	補○委	日本学術振興会
培養口腔粘膜上皮による眼表面再構築と上皮分化制御による視機能再生への展開	稲富 勉	眼科	1,560,000	補○委	日本学術振興会
カスタムチップを用いた既知の原発開放隅角緑内障関連遺伝子に対する候補遺伝子解析	森 和彦	眼科	1,820,000	補○委	日本学術振興会
性ホルモンによるヒトマイボーム腺および眼表面の制御調節機構の解明	鈴木 智	眼科	1,950,000	補○委	日本学術振興会
涙液油層の動態特性を決定するマイボーム腺脂質の分子機構の解明	横井 則彦	眼科	1,950,000	補○委	日本学術振興会
ドライアイの病態におけるインフラマゾームの関与についての研究	篠宮 克彦	眼科	1,170,000	補○委	日本学術振興会
細胞質内ウイルス認識機構RIG-Iファミリーによる眼表面感染防御機構の解明	木下 茂	眼科	1,170,000	補○委	日本学術振興会
生体4Dイメージングを用いた角膜創傷治癒過程における炎症制御機構の解明	水野 連太郎	眼科	1,690,000	補○委	日本学術振興会
屈折異常への神経補償の解明と治療への応用	稗田 牧	眼科	1,560,000	補○委	日本学術振興会
幼児期に機能するRNA干渉に依拠するヒト角膜内皮細胞の相転移制御技術の創出	戸田 宗豊	眼科	1,690,000	補○委	日本学術振興会
TACSTD2によるクローディングタンパク分解抑制メカニズムの分子病態解明	中司 美奈	眼科	1,690,000	補○委	日本学術振興会
眼サルコイドーシスにおける疾患特異的抗原の解明	小嶋 健太郎	眼科	2,470,000	補○委	日本学術振興会
補体活性化抑制因子産生の偏奇に係る分子機序の解明によるAMDの斬新な早期診断法	米田 一仁	眼科	1,950,000	補○委	日本学術振興会
加齢黄斑変性におけるエピジェネティックな調節機構の正常化	畑中 宏樹	眼科	1,430,000	補○委	日本学術振興会
緑内障統合的分子診断法の確立と実証	木下 茂	眼科	14,103,000	補○委	厚生労働省

小計

患者支援に基づくSJS/TEN後遺症の発症予防と治療法の確立	外園 千恵	眼科	3,250,000	補○ 委	厚生労働省
重傷多形滲出性紅斑眼障害の克服に向けた新規医療器具の開発	外園 千恵	眼科	78,000,000	補○ 委	厚生労働省
培養ヒト角膜内皮細胞移植による角膜内皮再生医療の実現化	木下 茂	眼科	81,900,000	補○ 委	厚生労働省
培養ヒト角膜内皮細胞移植による角膜内皮再生医療の実現化	木下 茂	眼科	130,150,000	補 委○	独立行政法人 科学技術振興 機構
遺伝子・細胞操作を駆使したヒト ES/iPS 細胞利用基盤技術の開発	上野 盛夫	眼科	3,250,000	補 委○	独立行政法人 科学技術振興 機構
高速・高精度計測技術を応用した脳神経疾患スクリーニング手法の開発	渡辺 彰英	眼科	9,750,000	補 委○	独立行政法人 科学技術振興 機構
粘膜上皮細胞のEP3/TLR3軸を分子標的とする革新的抗炎症薬の開発	木下 茂	眼科	3,100,500	補 委○	独立行政法人 科学技術振興 機構
感冒薬による重症薬疹発症に関わる遺伝素因の同定ならびに病態の解明	上田 真由美	眼科	50,000,000	補 委○	文部科学省
マクロファージ特定亜集団の選択的アポトーシス誘導による加齢黄斑変性の新規治療剤開発	米田 一仁	眼科	1,700,000	補 委○	独立行政法人 科学技術振興 機構
上皮細胞を作用点とする新規化合物の抗炎症作用評価解析	上田 真由美	眼科	1,300,000	補○ 委	京都市
眼合併症を伴うStevens-Johnson症候群の遺伝子素因ならびに病型解析	上田 真由美	眼科	1,200,000	補 委○	日本学術振興 会
自然炎症がアトピー性皮膚炎の発症と慢性化に果たす役割の分子機構の解明	加藤 則人	皮膚科	1,690,000	補○ 委	日本学術振興 会
血小板により誘導される炎症の制御機構の解明とそれに基づく新規治療法の開発	峠岡 理沙	皮膚科	1,950,000	補○ 委	日本学術振興 会
皮膚表皮細胞におけるポドプラニンの機能解析	浅井 純	皮膚科	1,820,000	補○ 委	日本学術振興 会
データベース化を目指したヒトメラノーマ特異的RNA干渉分子療法の開発	中井 章淳	皮膚科	1,300,000	補○ 委	日本学術振興 会
血小板の機能抑制によるアトピー性皮膚炎のプロアクティブ治療外用剤の開発	峠岡理沙	皮膚科	1,300,000	補 委○	独立行政法人 科学技術振興 機構
光イメージングを用いた新たな皮膚悪性腫瘍に対するin situ 診断法の開発	浅井 純	皮膚科	1,700,000	補 委○	独立行政法人 科学技術振興 機構
アンドロゲン受容体新規転写共役抑制因子を介した精巣腫瘍発生の分子機構の解析	三木 恒治	泌尿器科	5,330,000	補○ 委	日本学術振興 会
前立腺局所療法のためのがん病巣および治療範囲の双方向性マッピング法の開発	鴨井 和実	泌尿器科	130,000	補○ 委	日本学術振興 会
精巣腫瘍における癌精巣抗原の発現パターンの解析とその予後予測への応用	中村 晃和	泌尿器科	780,000	補○ 委	日本学術振興 会
一酸化窒素供与剤併用による新規腎癌治療法の開発	本郷 文弥	泌尿器科	910,000	補○ 委	日本学術振興 会

小計

磁性ナノビーズを用いた前立腺癌におけるタキサン系抗癌剤耐性獲得機序の解明	高羽 夏樹	泌尿器科	1,820,000	補○委	日本学術振興会
前立腺癌密封小線源治療における恥骨干渉克服のための包括的線源挿入技術の開発	沖原 宏治	泌尿器科	3,510,000	補○委	日本学術振興会
羊膜を基質として作成した培養口腔粘膜シートを用いた尿路再建法の開発	内藤 泰行	泌尿器科	1,560,000	補○委	日本学術振興会
MRTF分子による細胞骨格制御シグナルを標的とした前立腺癌転移抑制法の探求	三木 恒治	泌尿器科	2,080,000	補○委	日本学術振興会
ショウジョウバエを用いた前立腺癌増悪制御因子の探索	上田 紗弥 (伊藤紗弥)	泌尿器科	1,820,000	補○委	日本学術振興会
喉頭神経機構とその破綻への対応	久 育男	耳鼻咽喉科	10,270,000	補○委	日本学術振興会
発生期内耳有毛細胞の形態形成に関する研究	坂口 博史	耳鼻咽喉科	1,170,000	補○委	日本学術振興会
筋萎縮性側索硬化症における嚥下障害の病態の解明ーモデルマウスを用いてー	斉藤 敦志	耳鼻咽喉科	650,000	補○委	日本学術振興会
喉頭、気管ケミカルメディエーター受容体発現の日内変動の解析	板東 秀樹	耳鼻咽喉科	1,300,000	補○委	日本学術振興会
喉頭挙上筋電気刺激に伴う延髄嚥下中枢の可塑性に関する研究	杉山 庸一郎	耳鼻咽喉科	2,080,000	補○委	日本学術振興会
セロトニン神経系の障害をともなう精神疾患における意思決定神経基盤の解明	成本 迅	精神科・心療内科	6,110,000	補○委	文部科学省
数理モデル解析を用いた機能的MRIによる強迫性障害の意思決定神経基盤の解明	成本 迅	精神科・心療内科	780,000	補○委	日本学術振興会
有機溶剤初期乱用者の病態に関する神経科学的研究および治療薬の開発	福居 顯二	精神科・心療内科	910,000	補○委	日本学術振興会
マルチモーダル・イメージングを用いた強迫性障害における島皮質関連神経基盤の解明	中前 貴	精神科・心療内科	1,690,000	補○委	日本学術振興会
摂食障害患者家族の疾患心理教育および交流会プログラムによる効果についての実証研究	水原 祐起	精神科・心療内科	1,690,000	補○委	日本学術振興会
PTSDモデル動物におけるNFκBを標的としたバイオマーカー探索研究	吉井 崇喜	精神科・心療内科	1,690,000	補○委	日本学術振興会
地域に根差したがん患者の精神的サポートシステムの開発	羽多野 裕	精神科・心療内科	910,000	補○委	日本学術振興会
孤独感に注目したBPSDに対する非薬物療法の開発	松岡 照之	精神科・心療内科	1,430,000	補○委	日本学術振興会
オプトジェネティクスを応用した特異的セロトニン神経刺激による強迫性障害の病態解明	酒井 雄希	精神科・心療内科	1,430,000	補○委	日本学術振興会
認知症高齢者の医療選択をサポートするシステムの開発	成本 迅	精神科・心療内科	8,138,000	補委○	独立行政法人科学技術振興機構
高齢者の地域生活を健康時から認知症に至るまで途切れなくサポートする法学、工学、医学を統合した社会技術開発拠点	成本 迅	精神科・心療内科	6,450,000	補委○	独立行政法人科学技術振興機構

小計

呼気中一酸化窒素測定による胸部放射線治療後放射線肺臓炎の早期発見・治療効果判定	山崎 秀哉	放射線科	1,430,000	補○委	日本学術振興会
I Tを用いた高齢者における転倒・転落監視システムの構築とその実践	西村 恒彦	放射線科	1,560,000	補○委	日本学術振興会
糖尿病の進行度が脳内アミロイド沈着及び糖代謝に及ぼす影響—PETによる検討—	松島 成典	放射線科	1,300,000	補○委	日本学術振興会
拡散強調画像を利用した側脳室内脳脊髄液の温度測定における基礎的検討	赤澤 健太郎	放射線科	1,300,000	補○委	日本学術振興会
媒体注入下の肺スリガラス結節に対するラジオ波焼灼療法の基礎的・臨床的研究	三浦 寛司	放射線科	2,080,000	補○委	日本学術振興会
複数b値拡散強調像を用いた単純MRIによる新しい乳腺病変質的診断法の開発	後藤 真理子	放射線科	1,950,000	補○委	日本学術振興会
糖尿病の進行度が脳内アミロイド沈着及び糖代謝に及ぼす影響—PETによる検討—	松島 成典	放射線科	1,591,814	補○委	日本学術振興会
複数b値拡散強調像を用いた単純MRIによる新しい乳腺病変質的診断法の開発	後藤 真理子	放射線科	1,124,332	補○委	日本学術振興会
グラム陰性菌のV抗原及びその相同タンパクに対する血清疫学調査	佐和 貞治	麻酔科	5,720,000	補○委	日本学術振興会
mTORを介した末梢神経プロテオームの変化による疼痛発症のメカニズム解析	天谷 文昌	麻酔科	910,000	補○委	日本学術振興会
転写因子C/EBPβによる好中球造血・機能制御の解析に基づく敗血症病態の解明	志馬 伸朗	麻酔科	1,430,000	補○委	日本学術振興会
術後譫妄と覚醒意識レベル評価のためのα波に関する後頭前頭誘導脳波の同時解析	林 和子	麻酔科	1,690,000	補○委	日本学術振興会
椎間板性腰痛における疼痛発症メカニズムの解明	伊吹 京秀	麻酔科	1,430,000	補○委	日本学術振興会
侵襲的人工呼吸に対する上皮細胞骨格応答メカニズムの解明と治療への応用	橋本 壮志	麻酔科	1,300,000	補○委	日本学術振興会
急性肺損傷における肺上皮被覆液プロテオームの解析	佐和 貞治	麻酔科	910,000	補○委	日本学術振興会
炎症消退脂質分子とオートファジー誘導における術後回復力強化について	影山 京子	麻酔科	1,300,000	補○委	日本学術振興会
敗血症病態における単球系細胞死の機序解明と炎症消退脂質による新しい治療法の開発	中山 力恒	麻酔科	1,170,000	補○委	日本学術振興会
急性肺傷害における肺被覆液中の炎症消退脂質分子のLC-ESI-MS(n)解析	徳平 夏子	麻酔科	2,080,000	補○委	日本学術振興会
血小板内microrna発現の違いが心肺補助循環時の血小板機能低下へ及ぼす影響	前田 祥子	麻酔科	1,040,000	補○委	日本学術振興会
急性肺傷害が及ぼすマクロファージ内microrna発現変化と遺伝子治療への展開	竹下 淳	麻酔科	3,250,000	補○委	日本学術振興会
β遮断薬が及ぼす心臓手術周術期の心筋細胞内小胞体ストレス変化と遺伝子治療への応用	谷口 文香	麻酔科	3,250,000	補○委	日本学術振興会

小計

人工心肺手術における血栓形成メカニズムの 解明と、新規モニタリング装置への応用	小川 覚	麻酔科	1,430,000	補○ 委	日本学術振興 会
上皮間葉相互移行を標的とした急性肺損傷後 の上皮修復メカニズムの解明と治療への応用	橋本 壮志	麻酔科	1,199,549	補○ 委	日本学術振興 会
がん診療拠点病院におけるがん疼痛緩和に対 する取り組みの評価と改善に関する研究	細川 豊史	疼痛・緩和ケア 科	1,950,000	補○ 委	厚生労働省
タキサン系抗癌剤による末梢神経障害性疼痛 の予防・治療法の開発	上野 博司	疼痛・緩和ケア 科	1,950,000	補○ 委	日本学術振興 会
小児固形悪性腫瘍の非侵襲的診断と新規治療 開発のためのトランスレーショナルリサーチ	細井 創	小児科	19,110,000	補○ 委	文部科学省
M L L再構成陽性急性骨髄性白血病の新規治 療標的の探索	今村 俊彦	小児科	1,430,000	補○ 委	日本学術振興 会
拡散テンソル画像を用いた早産児の発達予後 の評価	森本 昌史	小児科	1,040,000	補○ 委	日本学術振興 会
ラブドイド腫瘍における薬剤耐性機序のエピ ゲノム解析と新規治療法の開発	桑原 康通	小児科	2,600,000	補○ 委	日本学術振興 会
血中分泌型microRNAを用いた横紋筋肉腫転移 メカニズムの解明	土屋 邦彦	小児科	2,470,000	補○ 委	日本学術振興 会
小児肥満におけるグレリンおよびグレリン受 容体遺伝子多型と食行動習慣の関連解析	中島 久和	小児科	1,040,000	補○ 委	日本学術振興 会
患者樹状細胞由来のe x o s o m eを用いた 腫瘍選択的核酸デリバリー	細井 創	小児科	1,170,000	補○ 委	日本学術振興 会
胞巣型横紋筋肉腫に対する新規分子標的R P S 6 K A 1の機能解析と治療応用	宮地 充	小児科	1,040,000	補○ 委	日本学術振興 会
疾患特異的iPS細胞を用いた早期乳児てんか ん性脳症の病態解明と薬剤評価系の構築	千代延 友裕	小児科	2,210,000	補○ 委	日本学術振興 会
細胞周期に伴ったPAX3-FOXO1A発現量の変化 とその意義の解明	菊地 顕	小児科	1,430,000	補○ 委	日本学術振興 会
ETP-ALLに対する新規治療法の開発	吉田秀樹	小児科	3,000,000	補○ 委	日本学術振興 会
IKZF1欠失陽性急性リンパ性白血病の発症に 関わる新規融合遺伝子の機能解析	今村俊彦	小児科	1,000,000	補○ 委	公益信託日本 白血病研究基 金
スーパーハイリスク神経芽腫における再発機 構の解明	家原知子	小児科	1,100,000	補○ 委	日本学術振興 会
初診時血清診断による、乳児神経芽腫の無 治療経過観察研究	家原知子	小児科	700,000	補○ 委	公益財団法人 がんの子供を 守る会
リピドーム検索を用いた先天性心疾患心虚血 再灌流障害時のエネルギー代謝に関する研究	岡 達二郎	小児循環器・腎 臓科	910,000	補○ 委	日本学術振興 会
動物モデルを用いた川崎病血管炎発症メカニ ズムに関する分子免疫学的研究	中村 明宏	小児循環器・腎 臓科	1,300,000	補○ 委	日本学術振興 会
虚血再灌流後の肺高血圧危急発生機序に関す る研究	問山 健太郎	小児循環器・腎 臓科	1,950,000	補○ 委	日本学術振興 会

小計

新化合物ジクロロアセチルカルニチンの虚血後再灌流臓器障害抑制効果の検討	糸井 利幸	小児循環器・腎臓科	1,430,000	補○委	日本学術振興会
多能性幹細胞からの高分化型刺激伝導系心筋細胞の開発	周藤 文明	小児循環器・腎臓科	1,430,000	補○委	日本学術振興会
iPS細胞技術を用いたガンマグロブリン不応川崎病に対する新規治療標的分子の同定	池田 和幸	小児循環器・腎臓科	1,560,000	補○委	日本学術振興会
川崎病における脱分化平滑筋による壁硬化メカニズムの解明及び新規予防法の開発	丹羽 陽子	小児循環器・腎臓科	1,560,000	補○委	日本学術振興会
小児期急性腎障害(AKI)後の慢性腎臓病(CKD)への進展に関する基礎的検討	西田 眞佐志	小児循環器・腎臓科	1,950,000	補○委	日本学術振興会
川崎病血管炎の炎症増悪因子としてのマンノース結合蛋白質に関する実験病理学的研究	浜岡 建城	小児循環器・腎臓科	1,690,000	補○委	日本学術振興会
トランスジェニックマウスを用いた小児がんに対する新規免疫遺伝子治療法の開発	田尻 達郎	小児外科	1,560,000	補○委	日本学術振興会
神経芽腫病期4sのiPS細胞疾患モデルによる同時多発・自然退縮メカニズムの解析	文野 誠久	小児外科	1,690,000	補○委	日本学術振興会
小児がん拠点病院を活用した臨床研究基礎のあり方及び新規治療開発に関する研究	田尻 達郎	小児外科	28,000,000	補○委	厚生労働省
臨床応用を念頭に置いた羊膜を基質とした培養歯髄由来細胞シートの開発	山本 俊郎	歯科	1,430,000	補○委	日本学術振興会
臨床応用を目指した羊膜を基質とした培養骨膜由来細胞シートに関する基礎的研究	金村 成智	歯科	1,820,000	補○委	日本学術振興会
羊膜の抗炎症・感染抑制作用に着目した新規培養歯根膜由来細胞シートに関する研究	熊本 園子	歯科	1,430,000	補○委	日本学術振興会
β-クリプトキサンチンを用いた新たな歯周病予防・治療薬の開発	大迫 文重	歯科	2,340,000	補○委	日本学術振興会
特定健診事業における歯周病とメタボリックシンドロームの関連性についての横断的研究	西垣 勝	歯科	390,000	補○委	日本学術振興会
羊膜上培養歯根膜由来細胞シートを用いた新たな骨再生医療に関する基礎的研究	雨宮 傑	歯科	1,300,000	補○委	日本学術振興会
歯周組織再生を目指したヒト骨芽細胞のダイレクト・リプログラミング	山本 健太	歯科	1,430,000	補○委	日本学術振興会
等方性超高密度炭素を使用した歯肉マッサージローラー試作機の開発・改良ならびに実用化への検討	山本 俊郎	歯科	1,300,000	補○委	京都市
異なる夜間勤務体制が医師の睡眠と自律神経活動に与える影響を比較検討する研究	安 炳文	救急医療科	3,250,000	補○委	日本学術振興会
音楽および音声が救急蘇生法の質に与える影響に関する挑戦的萌芽研究	山畑 佳篤	救急医療科	2,210,000	補○委	日本学術振興会
腎肺クレストークを介した人工呼吸器誘発性腎障害のメカニズム解明	橋本 悟	集中治療部	3,640,000	補○委	日本学術振興会
遺伝子ノックダウン手法を用いた血小板細胞死がもたらす敗血症増悪病態の解明	中嶋 康文	集中治療部	650,000	補○委	日本学術振興会

小計

敗血症病態が及ぼす単球系細胞内microRNAの発現変化と炎症消退機能への影響	澤田 麻衣子	集中治療部	1,040,000	補○委	日本学術振興会
多施設における原発性骨腫瘍の臨床病理学的検討	小西 英一	病院病理部	1,040,000	補○委	日本学術振興会
造血器腫瘍におけるゲノム構造異常とキメラ転写産物の多様性の解明と臨床応用	滝 智彦	遺伝子診療部	1,820,000	補○委	日本学術振興会
小児白血病におけるバイオマーカーによる早期診断技術の確立と実用化に関する研究	滝 智彦	遺伝子診療部	2,500,000	補委○	厚生労働省
小児骨髄系腫瘍における標準的治療法の確立	滝 智彦	遺伝子診療部	800,000	補委○	厚生労働省
				補委	
				補委	

小計
5

合計
234

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1	Hironori Mitsuyoshi	消化器内科	Pathogenic Role of Iron Deposition in Reticuloendothelial Cells during the Development of Chronic Hepatitis C.	International Journal of Hepatology, Volume 2013, Article ID 686420, 8 pages
2	Takako Akazawa	消化器内科	Aberrant expression of the PHF14 gene in biliary tract cancer cells.	Oncol Lett. Jun 2013; 5(6): 1849-1853.
3	Yoshio Sumida	消化器内科	Long-term (>=2 yr) efficacy of vitamin E for non-alcoholic steatohepatitis.	Hepatogastroenterology. 2013 Sep;60(126):1445-50.
4	Yoshio Sumida	消化器内科	The 'donations for decreased ALT (D4D)' prosocial behavior incentive scheme for NAFLD patients.	Journal of Public Health 2013 Oct 6. [Epub ahead of print]
5	Yoshio Sumida	消化器内科	Involvement of free radicals and oxidative stress in NAFLD/NASH.	Free Radical Reserch. 2013; 47(11): 869-80.
6	Po Hung Liu	消化器内科	The astaxanthin-induced improvement in lipid metabolism during exercise is mediated by a PGC-1 α increase in skeletal muscle.	Journal of Clinical Biochemistry and Nutrition. 2014; 54(2):86-9.
7	Ken Inoue	消化器内科	L-menthol improves adenoma detection rate during colonoscopy: a randomized trial.	Endoscopy. 2014 ;46(3):196-202.
8	Takeshi Ishikawa	消化器内科	Phase I clinical trial of fibronectin CH296-stimulated T cell therapy in patients with advanced cancer.	PLoS One. 2014 Jan 31;9(1):e83786.
9	Wataru Fukuda	消化器内科	Anti-inflammatory effects of carbon monoxide-releasing molecule on trinitrobenzene sulfonic acid-induced colitis in mice.	Digestive Disease and Science. 2014 Jun;59(6):1142-51.
10	Osamu Handa	消化器内科	The impact of non-steroidal anti-inflammatory drugs on the small intestinal epithelium.	Journal of Clinical Biochemistry and Nutrition. 2014; 54(1): 2-6.
11	Osamu Handa	消化器内科	Endoscopic diagnosis of small intestinal diseases.	Clinical Journal of Gastroenterology. 2014; 6(2): 94-98.
12	Toshifumi Tsuji	消化器内科	Role of metallothionein in murine experimental colitis.	International journal of molecular medicine. 2013; 31(5): 1037-46.

13	Kazuhiko Uchiyama	消化器内科	Analysis of cardiopulmonary stress during endoscopy: is unsedated transnasal esophagogastroduodenoscopy appropriate for elderly patients?	Canadian Journal of Gastroenterology & Hepatology. 2014; 28(1): 31-4.
14	Munehiro Kugai	消化器内科	MDR1 is related to intestinal epithelial injury induced by acetylsalicylic acid.	Cellular physiology and biochemistry. 2013; 32(4): 942-50.
15	Masayasu Jo	消化器内科	Efficacy and safety of sorafenib in very elderly patients aged 80 years and older with advanced hepatocellular carcinoma.	Hepatology Research. 2014 Feb 14. doi:10.1111/hepr.12308.
16	Yasuki Higashimura	消化器内科	Preventive effect of agaro-oligosaccharides on non-steroidal anti-inflammatory drug-induced small intestinal injury in mice.	Journal of Gastroenterology and Hepatology. 2014; 29(2): 310-7.
17	Akihito Harusato	消化器内科	BTB and CNC homolog 1 (Bach1) deficiency ameliorates TNBS colitis in mice: role of M2 macrophages and heme oxygenase-1.	Inflammatory bowel disease. 2013; 19(4):740-53.
18	Yutaka Inada	消化器内科	Prediction and treatment of difficult cases in colorectal endoscopic submucosal dissection.	Gastroenterology Research and Practice. 2013; 523084. doi: 10.1155/2013/523084. Jul 8.
19	Yuji Naito	消化器内科	A randomized, double-blind, sham-controlled study of static electric field therapy by high voltage alternating current for active rheumatoid arthritis.	Journal of Clinical Biochemistry and Nutrition. 2013; 53(1): 63-7.
20	Hiroyuki Yoriki	消化器内科	Hemin ameliorates indomethacin-induced small intestinal injury in mice through the induction of heme oxygenase-1.	Journal of Gastroenterology and Hepatology. 2013; 28(4): 632-8.
21	Manabu Okajima	消化器内科	Anoxia/reoxygenation induces epithelial-mesenchymal transition in human colon cancer cell lines.	Oncology reports.2013; 29(6): 2311-7.
22	Naohisa Yoshida	消化器内科	Ability of a novel blue laser imaging system for the diagnosis of colorectal polyps.	Digestive Endoscopy. 2014; 26(2): 250-8.
23	Naohisa Yoshida	消化器内科	Multicenter study of endoscopic mucosal resection using 0.13% hyaluronic acid solution of colorectal polyps less than 20 mm in size.	International journal of colorectal disease. 2013; 28(7): 985-91.
24	Naohisa Yoshida	消化器内科	Efficacy of goshajinkigan for oxaliplatin-induced peripheral neuropathy in colorectal cancer patients.	Journal of Oncology. 2013; 2013: 139740.
25	Naohisa Yoshida	消化器内科	Prevention and management of complications of and training for colorectal endoscopic submucosal dissection.	Gastroenterology Research and Practice. 2013; 287173. doi: 10.1155/2013/287173. Epub 2013 Jun 3.

26	Naohisa Yoshida	消化器内科	The ability of a novel blue laser imaging system for the diagnosis of invasion depth of colorectal neoplasms.	Journal of Gastroenterology. 2014; 49(1): 73-80.
27	Shiraishi J	循環器腎臓内科	Prognostic impact of pulse pressure at admission on in-hospital outcome after primary percutaneous coronary intervention for acute myocardial infarction.	Heart and Vessels 28(4):434-441, 2013.
28	Imoto-Tsubakimoto H	循環器腎臓内科	Serglycin is a Novel Adipocytokine Highly Expressed in Epicardial Adipose Tissue.	Biochemical and Biophysical Research Communications 423: 105-
29	Hoshino A	循環器腎臓内科	Cytosolic p53 inhibits Parkin-mediated mitophagy and promotes mitochondrial dysfunction in the mouse heart.	Nature Communications 4: 2308, 2013.
30	Kawahito H	循環器腎臓内科	Periaortic adipose tissue-specific activation of the renin-angiotensin system contributes to atherosclerosis development in uninephrectomized apoE ^{-/-} mice.	American Journal of Physiology Heart and Circulatory Physiology 305:H667-675, 2013.
31	Akakabe Y	循環器腎臓内科	Ecsr regulates insulin sensitivity and predisposition to obesity by modulating endothelial cell functions.	Nature Communications 4:2389, 2013.
32	Takata H	循環器腎臓内科	Vascular Angiotensin II Type 2 Receptor Attenuates Atherosclerosis via a Kinin/NO-Dependent Mechanism.	Journal of the Renin-Angiotensin-Aldosterone System 1470320313491794 published online 4
33	Ishida M	循環器腎臓内科	Association of a novel in-frame deletion mutation of the MYH9 gene with end-stage renal failure: case report and review of the literature.	Clinical Nephrology 80(3): 218-222, 2013.
34	Shiotsu Y	循環器腎臓内科	Prognostic utility of plasma S100A12 levels to establish a novel scoring system for predicting mortality in maintenance hemodialysis patients: a two-year prospective observational study in Japan.	BMC Nephrology 14: 16, 2013.
35	Ishida R	循環器腎臓内科	Percutaneous transluminal renal angioplasty remarkably improved severe hypertension and renal function in a patient with renal artery stenosis and postrenal kidney failure.	Renal Failure 35(4): 551-555, 2013.
36	Okada H	内分泌代謝内科学	A difference in systolic blood pressure between arms is a novel predictor of the development and progression of diabetic nephropathy in patients with type 2 diabetes	Atherosclerosis 230: 198-201, 2013.

37	Matsumoto S	内分泌代謝内科学	Effects of liraglutide on postprandial insulin and glucagon responses in Japanese patients with type 2 diabetes.	J Clin Biochem Nutr 53: 68-72, 2013.
38	Ushigome E	内分泌代謝内科学	Morning pulse pressure is associated more strongly with elevated albuminuria than systolic blood pressure in patients with type 2 diabetes mellitus: post hoc analysis of a cross-sectional multicenter study.	Diabetes Res Clin Pract 101: 270-277, 2013.
39	Okada H	内分泌代謝内科学	Visit-to-visit variability in systolic blood pressure is a novel risk factor for the progression of coronary artery calcification.	Hypertens Res 36: 996-999, 2013.
40	Fukui M	内分泌代謝内科学	LOX-1 is a novel marker for peripheral artery disease in patients with type 2 diabetes.	Metabolism 62: 935-938, 2013.
41	Fukui M	内分泌代謝内科学	Could home arterial stiffness index be a novel marker for arterial stiffness in patients with type 2 diabetes?	Hypertens Res 36: 645-649, 2013.
42	Okada H	内分泌代謝内科学	Visit-to-visit blood pressure variability is a novel risk factor for the development and progression of diabetic nephropathy in patients with type 2 diabetes.	Diabetes Care 19: 1908-1912, 2013.
43	Senmaru T	内分泌代謝内科学	Testosterone deficiency induces markedly decreased serum triglycerides, increased small dense LDL, and hepatic steatosis mediated by dysregulation of lipid assembly and secretion in mice fed a high-fat diet.	Metabolism 62: 851-860, 2013.
44	Okada H	内分泌代謝内科学	A difference in systolic blood pressure between arms and between lower limbs is a novel risk marker for diabetic nephropathy in patients with Type 2 diabetes.	Hypertens Res 36: 403-407, 2013.
45	Fukui M	内分泌代謝内科学	Home blood pressure variability on one occasion is a novel factor associated with arterial stiffness in patients with type 2 diabetes.	Hypertens Res 36: 219-225, 2013.
46	Senmaru T	内分泌代謝内科学	Serum pepsinogen I/II ratio is correlated with albuminuria in patients with type 2 diabetes.	Endocr J 60: 161-166, 2013.
47	Ushigome E	内分泌代謝内科学	Beneficial effect of calcium channel blockers on home blood pressure variability in the morning in patients with type 2 diabetes.	J Diabetes Invest 4: 399-404, 2013.
48	Kiyota Miki	血液内科	FTY720 induces apoptosis of chronic myelogenous leukemia cells via dual activation of BIM and BID and overcomes various types of resistance to tyrosine kinase inhibitors.	Apoptosis. 18(11):1437-1446, 2013 .
49	Kuroda Junya	血液内科	Multifaceted mechanisms for cell survival and drug targeting in chronic myelogenous leukemia.	Current Cancer Drug Targets . 13(1) : 69-79, 2013.

50	Shimura Yuji	血液内科	Hematopoietic progenitor cell mobilization using low-dose cyclophosphamide and granulocyte colony-stimulating factor for multiple myeloma.	Journal of Clinical Apheresis. 28(5):368-373, 2013
51	Chinen Yoshiaki	血液内科	Low ADAMTS-13 activity during hemorrhagic events with disseminated intravascular coagulation.	International Journal of Hematology. 97(4):511-519, 2013.
52	Nakayama Ryuko	血液内科	Suppression of SERPINA1-albumin complex formation by galectin-3 overexpression leads to paracrine growth promotion of chronic myelogenous leukemia cells	Leukemia Research . 38(1):103-108, 2014
53	Wataru Fujii	免疫内科学	Myeloid-derived suppressor cells play crucial roles in the regulation of mouse collagen-induced arthritis.	Journal of Immunology;191(3):1073-81、2013.
54	Mizuta I	神経内科(老年内科)	YY1 binds to α -synuclein 3'-flanking region SNP and stimulates antisense noncoding RNA expression.	J Hum Genet. 2013. 58(11). 711-719
55	Kondo M	神経内科(老年内科)	Distribution of amyloid burden differs between idiopathic normal pressure hydrocephalus and Alzheimer's disease.	Neuroradiol J. 2013.26(1).41-46
56	Yoshida T	神経内科(老年内科)	Effects of a polymorphism in the GFAP promoter on the age of onset and ambulatory disability in late-onset Alexander disease.	J Hum Genet. 2013. 58(9). 635-638
57	Ohshima Y	神経内科(老年内科)	Low vitamin and carotenoid levels are related to cerebral white matter lesions.	J Nutr Health Aging.2013.17(5).456-460
58	Kasai T	神経内科(老年内科)	Correlation of A β oligomer levels in matched cerebrospinal fluid and serum samples.	Nerurosci Lett.2013.551.17-22
59	Ohara T	神経内科(老年内科)	Clinical and Radiological Features of Stroke Patients with Poor Outcomes Who Do Not Receive Intravenous Thrombolysis because of Mild Symptoms	Eur Neurol.2013.69(1).4-7
60	Ohara T	神経内科(老年内科)	Impact of chronic kidney disease on carotid atherosclerosis according to blood pressure category: the Suita study.	Stroke.2013.44(12).3537-3539
61	Noto Y	神経内科(老年内科)	Contrasting echogenicity in flexor digitorum profundus-flexor carpi ulnaris: a diagnostic ultrasound pattern in sporadic inclusion body myositis.	Muscle and Nerve.2014.49(5).745-748

62	Koizumi H	神経内科(老年内科)	Response of striosomal opioid signaling to dopamine depletion in 6-hydroxydopamine-lesioned rat model of Parkinson's disease: a potential compensatory role.	Front Cell Neurosci.2013.17.74
63	Tanaka A	神経内科(老年内科)	Clinical characteristics and treatment responses in new-onset epilepsy in the elderly.	Epilepsy Behav. 2013.22(9).772-775
64	Tanaka A	神経内科(老年内科)	A more realistic approach, using dynamic stimuli, to test facial emotion recognition impairment in temporal lobe epilepsy.	Seizure.2013.28(1).12-16
65	Shinichi Okamura	消化器外科	Overexpression of IL-6 by gene transfer stimulates IL-8-mediated invasiveness of KYSE170 esophageal carcinoma cells	Anticancer Research 33(4): 1483-9, 2013
66	Shuhei Komatsu	消化器外科	Better outcomes by monitoring tumour dynamics using sensitive tumour markers in patients with recurrent gastric cancer.	Anticancer Research 33(4): 1621-7, 2013
67	Toshiya Ochiai	消化器外科	Anatomical hepatectomy for hepatocellular carcinoma in patients with preserved liver function.	Anticancer Research 33(4): 1689-96, 2013
68	Atsushi Shiozaki	消化器外科	Novel technique for dissection of subcarinal and main bronchial lymph nodes using a laparoscopic transhiatal approach for esophageal cancer.	Anticancer Research 33(6): 2577-85, 2013
69	Masayuki Yoneda	消化器外科	Prognostic impact of tumor IL-6 expression after preoperative chemoradiotherapy in patients with advanced esophageal squamous cell carcinoma.	Anticancer Research 33(6): 2699-705, 2013
70	Tomohiro Arita	消化器外科	Circulating long non-coding RNAs in plasma of patients with gastric cancer.	Anticancer Research 33(8): 3185-94, 2013
71	Tsutomu Kawaguchi	消化器外科	Comparison of prognostic compatibility between seventh AJCC/TNM of the esophagus and 14th JCGC staging systems in sievert type II adenocarcinoma.	Anticancer Research 33(8): 3461-6, 2013
72	Shuhei Komatsu	消化器外科	Clinical influence of endoscopic resection on subsequent laparoscopic gastrectomy for gastric cancer.	Anitcancer Research 33(9): 4023-8, 2013
73	Atsushi Shiozaki	消化器外科	Prognostic Significance of p21 Expression in Patients with Esophageal Squamous Cell Carcinoma.	Anitcancer Research 33(10): 4329-35, 2013
74	Katsutoshi Shoda	消化器外科	Postoperative Follow-up of Patients with Gastric Cancer According to Nodal Status.	Anitcancer Research 33(10): 4645-9, 2013
75	Yusuke Yamamoto	消化器外科	Changing Trends in Long-term Outcomes After Hepatic Resection for Hepatocellular Carcinoma: A 30-Year, Single-center Experience.	Anticancer Research 33(11): 5097-105, 2013

76	Daisuke Ichikawa	消化器外科	Effect of Hospital Volume on Long-term Outcomes of Laparoscopic Gastrectomy for Clinical Stage I Gastric Cancer.	Anticancer Research 33(11): 5165-70, 2013
77	Takeshi Ishimoto	消化器外科	E2F5 as an independent prognostic factor in esophageal squamous cell carcinoma.	Anticancer Research 33(12): 5415-20, 2013
78	Yusuke Yamamoto	消化器外科	Predictive scoring system assessing the need for intraoperative blood transfusions during hepatocellular carcinoma.	Anticancer Research 34(1):31-8, 2013
79	Atsushi Shiozaki	消化器外科	XB130 as an Independent Prognostic Factor in Human Esophageal Squamous Cell Carcinoma.	Annals of surgical oncology 20(9): 3140-50, 2013
80	Noriaki Koizumi	消化器外科	Detection of metastatic lymph nodes using 5-aminolevulinic Acid in patients with gastric cancer.	Annals of surgical oncology 20(11): 3541-8, 2013
81	Maki Kitagawa	消化器外科	A regulatory role of K ⁺ -Cl ⁻ cotransporter in the cell cycle progression of breast cancer MDA-MB-231 cells.	Archives of Biochemistry and Biophysics 539(1): 92-8, 2013
82	Yukihisa Nishimura	消化器外科	Overexpression of YWHAZ relates to tumor cell proliferation and malignant outcome of gastric carcinoma.	British Journal of Cancer 108(6): 1324-31, 2013
83	Shoji Hirajima	消化器外科	Clinical impact of circulating miR-18a in plasma of patients with oesophageal squamous cell carcinoma.	British Journal of Cancer 108(9): 1822-9, 2013
84	Hiroki Shimizu	消化器外科	Evaluation of postoperative nephrolithiasis and renal dysfunction in gastric cancer patients.	Gastric Cancer 16(3):338-44, 2013
85	Daisuke Ichikawa	消化器外科	Long-term outcomes of patients who underwent limited proximal gastrectomy.	Gastric Cancer 17(1):141-5, 2014
86	Kenichi Harada	消化器外科	Detection of lymph node metastases in human colorectal cancer by using 5-aminolevulinic acid-induced protoporphyrin IX fluorescence with spectral unmixing.	International Journal of Molecular Sciences 14(11):23140-52, 2013
87	Hitoshi Hino	消化器外科	5-Aminolevulinic acid-mediated photodynamic therapy using light-emitting diodes of different wavelengths in a mouse model of peritoneally disseminated gastric cancer.	Journal of Surgical Research 185(1): 119-26, 2013
88	Sousuke Komiyama	消化器外科	Adipose-derived stem cells enhance tissue regeneration of gastrotomy closure.	Journal of Surgical Research 185(2): 945-52, 2013
89	Daisuke Ichikawa	消化器外科	Evaluation of symptoms related to reflux esophagitis in patients with esophagogastrotomy after proximal gastrectomy.	Langenbecks Archives of Surgery 398(5):697-701, 2013

90	Hitoshi Fujiwara	消化器外科	Time course of serum C-reactive protein levels during induction chemoradiotherapy and its correlation with treatment response and survival in patients with advanced esophageal squamous cell carcinoma.	Molecular and clinical oncology 1(3):558-64, 2013
91	Atsushi Shiozaki	消化器外科	Middle and lower esophagectomy preceded by hand-assisted laparoscopic transhiatal approach for distal esophageal cancer.	Molecular and clinical oncology 2 :31-7, 2013
92	Takeshi Kubota	消化器外科	Interruption of the HGF paracrine loop by NK4, an HGF antagonist, reduces VEGF expression of CT26 cells.	Oncology Reports 30(2):567-72, 2013
93	Yusuke Yamamoto	消化器外科	Significance of GSTP1 for predicting the prognosis and chemotherapeutic efficacy in esophageal squamous cell carcinoma.	Oncology reports 30(4):1687-94, 2013
94	Momoko Todo	消化器外科	Ibuprofen enhances TRAIL-induced apoptosis through DR5 upregulation.	Onology Reports 30(5):2379-84, 2013
95	Tomoya Hatakeyama	消化器外科	Connexin43 functions as a novel interacting partner of heat shock cognate protein70.	Scientific reports 3:2719, 2013
96	Daisuke Ichikawa	消化器外科	A case involving long-term survival after esophageal cancer with liver and lung metastases treated by multidisciplinary therapy: report of a case.	Surgery Today 43(5):556-61, 2013
97	Tomoya Hatakeyama	消化器外科	Laparoscopic resection for colorectal cancer improves short-term outcomes in very elderly colorectal cancer patients.	Surgical Laparoscopy Endoscopy & Percutaneous Techniques 23(6): 532-5, 2013
98	Hiroki Takeshita	消化器外科	Surgical Outcomes of Gastrectomy for Elderly Patients with Gastric Cancer.	World Journal of Surgery 37(12): 2891-8, 2013
99	Shoji Hirajima	消化器外科	Liver metastasis is the only independent prognostic factor in AFP-producing gastric cancer.	World Journal of Gastroenterology 19(36):6055-61, 2013
100	Shuhei Komatsu	消化器外科	Risk factors to predict severe postoperative pancreatic fistula following gastrectomy for gastric cancer.	World Journal of Gastroenterology 19(46):8696-702
101	Masahiro Tsujiura	消化器外科	Liquid biopsy of gastric patients: Circulating tumor cells and cell-free nucleic acids.	World Journal of Gastroenterology 20(12):3265-86, 2014
102	Yaku H.	心臓血管外科	Off-Pump Coronary Artery Bypass Grafting Revisited: Experience and Evidence from Japan.	Ann Thorac Cardiovasc Sug vol.19 No.2:83-94.2013 April.
103	Kawajiri H.	心臓血管外科	Aneurysm formation at both ends of an endograft associated with maladaptive aortic changes after endovascular aortic repair in a healthy patient.	Interact Cardiovasc Thorac Surg..2013 Nov;17(5):895-7.

104	Dohi M.	心臓血管外科	Delayed-onset systolic anterior motion of the mitral valve after aortic valve replacement for severe aortic stenosis.	Int Heart J.2013;54(5):292-6.
105	Yaku H.	心臓血管外科	Surgical management of ischemic mitral regurgitation:indications,procedures,and future prospects.	Gen Thorac Cardiovasc Surg 2013;61(9):497-503.
106	Kawajiri H.	心臓血管外科	Infectious pseudoaneurysm at the proximal edge of the endograft, after hybrid aortic arch repair.	Eur J Cardiothorac Sug.2013 Dec;44(6):1151-2.
107	Ohira S.	心臓血管外科	Surgical removal of extensive left pulmonary vein stump thrombus after pulmonary lobectomy:a rare cause of acute cerebral embolism.	Ann Thorac Surg 2013 Dec;96(6):e135-6.
108	Ohira S.	心臓血管外科	Successful repair of a mitral valve aneurysm with cleft of anterior mitral leaflet in an adult.	Ann Thorac Surg 2013 Dec;96(6):2238-40.
109	Kawajiri H.	心臓血管外科	Two-stage hybrid repair for a Kommerell diverticulum in a right-sided aortic arch associated with multivessel coronary disease and atrial septal defect.	J Thorac Cardiovasc Surg.2014 Jan;147(1) :532-4.
110	Yaku H.	心臓血管外科	In vitro assays predictive of telomerase inhibitory effect of G-quadruplex ligands in cell nuclei.	J Phys Chem B.2014 Mar 13;118(10):2605-14.
111	Yaku H.	心臓血管外科	Aortic valve reconstruction with autologous glutaraldehyde-treated pericardium--a new paradigm for aortic valve surgery?	Circ J. 2014;78(5):1063-5.
112	Junichi Shimada	呼吸器外科	The OIDE hook: A retractor for video-assisted thoracic surgery	J Thorac Cardiovasc Surg. 2013;145(4):1139-40
113	Junichi Shimada	呼吸器外科	Chondromyxoid fibroma with secondary aneurysmal bone cyst of the rib	Ann Thorac Cardiovasc Surg. 2013;19(3):250-252
114	Hiroaki Tsunozuka	呼吸器外科	Three-dimensional kinematic analysis of active cervical spine motion by using a multifaceted marker device	Conf Proc IEEE Eng Med Biol Soc. 2013;4879-4882
115	Tetsuya Taguchi	内分泌・乳腺外科	Low dose capecitabine plus weekly paclitaxel in patients with metastatic breast cancer: a multicenter phase II study KBCSG-0609	Cancer Chemotherapy and Pharmacology, 2013;71:741-747.
116	Nakamura T	移植・一般外科	Successful liver resection for the unusual case of peripheral intra bile duct growth of liver metastasis from colorectal carcinoma.	Journal of Surgery Case Reports(8):055,2013

117	Yoshimura N	移植・一般外科	Excellent results of high-dose mizoribine combined with cyclosporine, basiliximab, and corticosteroids in renal transplant recipients--4-year results.	Transplantation Proceedings 45(4):1472-1475,2013
118	Nakamura T	移植・一般外科	Uncommon lymphoepithelial cyst with sebaceous glands of the pancreas.	Journal of the Pancreas 14(6): 632-635,2013
119	Koshino K	移植・一般外科	Outcome of tonsillectomy for recurrent IgA nephropathy after kidney transplantation.	Clin Transplant 27 suppl 26:22-28.2013
120	Nakamura T	移植・一般外科	Pancreatic cancer:Slow progression in the early stages.	International Journal of Surgery Case Reports 4:693-696,2013
121	Nakamura T	移植・一般外科	Intra-Abdominal Haemorrhage due to Traumatic Rupture of a Hepatic Cyst and Parenchymal Cystic Wall Laceration Following Blunt Abdominal Injury.	Journal of Medical Cases 4(9):633-635,2013
122	Koshino K	移植・一般外科	Usefulness of follow-up biopsies at one year after ABO-incompatible kidney transplantation.	Transplantation Proceedings 46(2):385-387,2014
123	Yoshimura N	移植・一般外科	Usefulness and safety of high-dose mizoribine on ABO-incompatible living related kidney transplantation using anti-CD20 and anti-CD25 antibodies without splenectomy: 3-year results.	Transplantation Proceedings 46(2):391-394,2014
124	Suzuki T	移植・一般外科	Results of kidney transplantation for diabetic nephropathy: a single-center experience.	Transplantation Proceedings 46(2):464-466,2014
125	Takeda K	形成外科	Adipose-Derived Stem Cells Promote Proliferation, Migration, and Tube Formation of Lymphatic Endothelial Cells In Vitro by Secreting Lymphangiogenic Factors.	Ann Plast Surg. 2014 Jan 7.
126	FUJIWARA Hiroyoshi	整形外科	Re-evaluation of stress radiographic findings for preoperative diagnosis of Stener lesion.	Journal of Hand Surgery Eur Vol. 2013 Oct;38(8):906-7.
127	FUJIWARA Hiroyoshi	整形外科	Long-term results of vascularized bone graft for stage III Kienböck disease.	Journal of Hand Surgery Am. 2013 May;38(5):904-8.
128	HIRAOKA Nobuyuki	整形外科	Mild electrical stimulation with heat stimulation increase heat shock protein 70 in articular chondrocyte.	Journal of Orthopaedic Research. 2013 Jun;31(6):894-900.
129	HORII Motoyuki	整形外科	Urban versus rural differences in the occurrence of hip fractures in Japan's Kyoto prefecture during 2008-2010: a comparison of femoral neck and trochanteric fractures.	BMC Musculoskeletal Disorder. 2013 Oct 25;14:304.

130	KIDO Masamitsu	整形外科	Load response of the medial longitudinal arch in patients with flatfoot deformity: in vivo 3D study.	Clinical Biomechanics (Bristol, Avon). 2013 Jun;28(5):568-73.
131	KOMIYAMA Hiroto	整形外科	The fate and role of bone graft-derived cells after autologous tendon and bone transplantation into the bone tunnel.	Journal of Orthopaedic Science. 2013 Nov;18(6):994-1004.
132	IKOMA Kazuya	整形外科	Effects of stress-shielding on the dynamic viscoelasticity and ordering of the collagen fibers in rabbit Achilles tendon.	Journal of Orthopaedic Research. 2013 Nov;31(11):1708-12.
133	IKOMA Kazuya	整形外科	A new radiographic view of the hindfoot.	Journal of Foot & Ankle Research. 2013 Dec 13;6(1):48.
134	INOUE Hiroaki	整形外科	Sonoporation-mediated transduction of siRNA ameliorated experimental arthritis using 3 MHz pulsed ultrasound.	Ultrasonics. 2014 Mar;54(3):874-81
135	MIKAMI Yasuo	整形外科	Tubular surgery with the assistance of endoscopic surgery via midline approach for lumbar spinal canal stenosis: a technical note.	European Spine Journal. 2013 Sep;22(9):2105-12.
136	MORISAKI Shinsuke	整形外科	Application of Raman spectroscopy for visualizing biochemical changes during peripheral nerve injury in vitro and in vivo.	Journal of Biomedical Optics. 2013 Nov;18(11):116011.
137	NAKAGAWA Shuji	整形外科	Medial patellofemoral ligament reconstruction procedure using a suspensory femoral fixation system.	Arthroscopy Techniques. 2013 Nov 15;2(4):e491-5.
138	ODA Ryo	整形外科	How do anti-TNF therapies affect gait function in patients with rheumatoid arthritis?	International Journal of Rheumatic Diseases. 2014 Jan;17(1):57-62.
139	OKUBO Naoki	整形外科	Prolonged bioluminescence monitoring in mouse ex vivo bone culture revealed persistent circadian rhythms in articular cartilages and growth plates.	PLoS One. 2013 Nov 4;8(11):e78306.
140	OISHI Hisao	整形外科	Spontaneous tendon rupture of the extensor digitorum communis in systemic lupus erythematosus.	Modern Rheumatology. 2013 May;23(3):608-10.
141	TAKEZAWA Yasunobu	整形外科	A case of selective arterial embolization for recurrent hemarthrosis after total knee arthroplasty.	Journal of Orthopaedic Science. 2013 Jul;18(4):679-82.
142	TANIGUCHI Daigo	整形外科	Successful treatment of concomitant ipsilateral intracapsular and extracapsular hip fractures.	Orthopedics. 2013 Jun;36(6):837-9.

143	TOYAMA Shogo	整形外科	Rheumatoid arthritis of the hand: a five-year longitudinal analysis of clinical and radiographic findings.	Modern Rheumatology. 2014 Jan;24(1):69-77.
144	TSUCHIDA Shinji	整形外科	Silencing the expression of connexin 43 decreases inflammation and joint destruction in experimental arthritis.	Journal of Orthopaedic Research. 2013 Apr;31(4):525-30.
145	YOSHIOKA Shinji	整形外科	Two cases of inferior dislocation of the patella with impaction into the femoral trochlea of osteophytes on the superior pole of the patella.	Case Report Orthopaedics 2013;2013:691739.
146	Yamagami Takuji	産婦人科	Symptomatic deep venous thrombosis of the lower extremity in a pregnant woman successfully treated with endovascular procedures.	The Journal of Obstetrics and Gynaecology Research 39(5): 1059-1064 , 2013
147	Senmaru Takahumi	産婦人科	Testosterone deficiency induces markedly decreased serum triglycerides, increased small dense LDL, and hepatic steatosis mediated by dysregulation of lipid assembly and secretion in mice fed a high-fat diet.	Metabolism Clinical and Experimental 62(6): 851-860, 2013
148	Kondo Yoji	産婦人科	Lepr(db/db) mice with senescence markerprotein-30 knockout (Lepr(db/db)Smp30(Y/-)) exhibit increases in small dense-LDL and severe fatty liver despite being fed an standard diet.	PLoS One 8(6): e65698, 2013
149	Akiyama Makoto	産婦人科	Prenatal diagnosis of agnathia-otocephaly using sonography and magnetic resonance imaging.	Journal of Ultrasound Medicine 32(8): 1522-1524, 2013
150	Sawada Morio	産婦人科	Intestinal-type adenocarcinoma possibly arising from a remnant of the rectovaginal fistula tract formed after intermediate-level imperforate anus repair.	Japanese Journal of Clinical Oncology 43(12): 1286, 2013
151	Matsushima Hiroshi	産婦人科	Clear cell adenocarcinoma of the ovary with a sarcoid reaction in the spleen and regional lymph nodes: a case report.	Gynecologic Oncology Case Reports 5:43-45, 2013
152	Kusuki Izumi	産婦人科	Usefulness of moistening Seprafilm before use in laparoscopic surgery.	Surgical Laparoscopy Endoscopy and Percutaneous Techniques 24(1):e13-15, 2014
153	Yamamoto Takuro	産婦人科	Late, isolated metastasis from poorly differentiated gastric cancer to the uterine cervix.	Gynecology Oncology Case Reports 8:17-20, 2014
154	Kataoka Hisashi	産婦人科	Outcome of fertility-sparing treatment with medroxyprogesterone acetate for atypical hyperplasia and endometrial carcinoma in young Japanese women.	European Journal of Gynaecological Oncology 35(1): 11-15, 2014

155	Matsui Kanoko	産婦人科	Evaluation of primary prophylaxis with granulocyte colony-stimulating factor for epithelial ovarian cancer.	European Journal of Gynaecological Oncology 35(1): 48-51, 2014
156	Nakai N	皮膚科	Correlation between Soluble Interleukin-2 Receptor Levels and Modified Rodnan Total Skin Thickness Scores in a Patient with Generalized Morphea: A Case Report.	Allergology International 62(3); 391-393, 2013
157	Hanada K	皮膚科	Peripheral choline acetyltransferase in rat skin demonstrated by immunohistochemistry.	Cell and Tissue Research 351(3); 497-510, 2013
158	Asai J	皮膚科	Topical application of ex vivo expanded endothelial progenitor cells promotes vascularisation and wound healing in diabetic mice.	International Wound Journal 10(5); 527-533, 2013
159	Asai J	皮膚科	Photodynamic diagnosis of metastatic lymph nodes using 5-aminolevulinic acid in mouse squamous cell carcinoma.	Journal of Dermatological Science 74(2); 171-173, 2014
160	Isohisa T	皮膚科	Angiolymphoid hyperplasia with eosinophilia treated successfully with imiquimod.	International Journal of Dermatology 53(1); e43-e44, 2014
161	Hagura A	皮膚科	The VEGF-C/VEGFR3 signaling pathway contributes to resolving chronic skin inflammation by activating lymphatic vessel function.	Journal Dermatological Science 73; 135-141, 2014
162	Shinnoh M	泌尿器科	Clostridium butyricum MIYAIRI 588 shows antitumor effects by enhancing the release of TRAIL from neutrophils through MMP-8	International Journal of Oncology 42(3):903-911, 2013
163	Naitoh Y	泌尿器科	Hemostatic effect of New Surgical Glue in Animal Partial Nephrectomy Models	Urology 81(5):1095-1100, 2013
164	Fujihara A	泌尿器科	Urge perception index of bladder hypersensitivity	Journal of Urology 189(5):1797-1803, 2013
165	Ishida H	泌尿器科	Identification of a novel gene by whole human genome tiling array	Gene 516(1):33-38, 2013
166	Kimura Y	泌尿器科	Post-chemotherapy nerve-sparing laparoscopic retroperitoneal lymph node dissection in stage IIB testicular cancer	International Journal of Urology 20(8):837-841, 2013
167	Ochiai A	泌尿器科	Clinical utility of the prostate cancer gene 3 (PCA3) urine assay in Japanese men undergoing prostate biopsy	British Journal of Urology International 111(6):928-933, 2013
168	Oishi M	泌尿器科	Apigenin sensitizes prostate cancer cells to Apo2L/TRAIL by targeting adenine nucleotide translocase-2	PloS One 8(2):e55922

169	Okihara K	泌尿器科	Assessment of screenees' knowledge on Prostate Cancer: Results of a Questionnaire Using the Fact Sheet	Urologia Internationalis 91(1):49-54, 2013
170	Ueda T	泌尿器科	Hyper-expression of PAX2 in human metastatic prostate tumors and its role as a cancer promoter in an in vitro invasion model.	Prostate 73(13):1403-1412, 2013
171	Toiyama D	泌尿器科	Significance of serum tumor necrosis factor-related apoptosis-inducing ligand as a prognostic biomarker for renal cell carcinoma.	Molecular and Clinical Oncology 1:69-74, 2013
172	Yamada T	泌尿器科	A novel HDAC inhibitor OBP-801 and a PI3K inhibitor LY294002 synergistically induce apoptosis via the suppression of survivin and XIAP in renal cell carcinoma	International Journal of Oncology 43(4):1080-1086, 2013
173	Naitoh Y	泌尿器科	Nephrolithotomy Performed concurrently with laparoendoscopic single-site pyeloplasty.	Urology 83(1):243-246, 2013
174	Sugiyama Y	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室	Activity of respiratory neurons in the rostral medulla during vocalization, swallowing, and coughing in guinea pigs.	Neurosci Res. 2014 Mar;80:17-31
175	Adavhi N	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室	The mechanism underlying maintenance of the endocochlear potential by the K ⁺ transport system in fibrocytes of the inner ear.	J Physiol. 2013 Sep 15;591(Pt 18):4459-72.
176	Tsujikawa T	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室	Autocrine and paracrine loops between cancer cells and macrophages promote lymph node metastasis via CCR4/CCL22 in head and neck squamous cell carcinoma.	Int J Cancer. 2013 Jun 15;132(12):2755-66.
177	Fujita T	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室	NMII forms a contractile transcellular sarcomeric network to regulate apical cell junctions and tissue geometry.	Curr Biol. 2013 Apr 22;23(8):731-6.
178	Hatano Y	精神科・心療内科	White-matter Hyperintensities predict delirium after cardiac surgery.	AM J Geriatr Psychiatry 21(10):938-945,2013
179	Matsuoka T.	精神科・心療内科	Neural correlates of the components of the clock drawing test.	International Psychogeriatrics 25(8):1317-1323,2013
180	Kato Y	精神科・心療内科	Diagnostic performance of a combination of Mini-Mental State Examination and Clock Drawing Test in detecting Alzheimer's disease.	Neuropsychiatric Disease and Treatment 9:581-586,2013
181	Taniguchi S	精神科・心療内科	Treatment in a ward for elderly patients with dementia in Japan.	Neuropsychiatric Disease and Treatment 9:357-363,2013
182	Iida N	精神科・心療内科	Case of dementia with Lewy bodies that progressed from schizo affective disorder.	Psychiatry Clin Neurosci 67(4):281-2,2013

183	Hatano Y	精神科・心療内科	Oral nutrition or the ability to speak: the choice faced by a cancer survivor.	J Pain Symptom Manage 46:452-455,2013
184	Yamazaki H	放射線医学	Re-irradiation using interstitial brachytherapy increase vaginal mucosal reaction compared to Initial brachytherapy in patients with gynecological cancer.	Anticancer Res 33: 5687-92, 2013.
185	Yamazaki H	放射線医学	Nonsurgical multimodality treatment for locally advanced (T3-4) hypopharyngeal cancer: the Impact of pretreatment hemoglobin level.	Anticancer Res 33: 5561-5, 2013 .
186	Yamazaki H	放射線医学	Analysis of intrafractional organ motion for patients with prostate cancer using soft tissue matching image-guided Intensity-modulated radiation therapy by helical tomotherapy.	Anticancer Res 33: 5675-9, 2013.
187	Yamazaki H	放射線医学	Comparisons of late vaginal mucosal reactions between interstitial and conventional intracavitary brachytherapy in patients with gynecological cancer: speculation on the relation between pallor reaction and stenosis.	Anticancer Res 33: 3963-8, 2013.
188	Yamazaki H	放射線医学	Comparison of calculated dose by helical tomotherapy treatment planning machine and measured dose of radiophotoluminescence glass dosimeter in lung lesions using Rando Phantom.	Anticancer Res 33:1679-84, 2013.
189	Yamazaki H	放射線医学	Intensity-modulated radiation therapy with hypoxic sensitizer AK-2123 (sanazole) for glioblastoma multiforme using simultaneous integrated boost technique.	Anticancer Res 33: 1685-8, 2013.
190	Yamazaki H	放射線医学	Hypofractionated stereotactic radiotherapy with the hypoxic sensitizer AK-2123 (sanazole) for reirradiation of brain metastases: a preliminary feasibility report.	Anticancer Res 33: 1773-6, 2013.
191	Yamazaki H	放射線医学	Assessment of planning target volume margin for a small number of vertebral metastatic lesions using image-guided intensity-modulated radiation therapy by helical tomotherapy.	Anticancer Res 33: 2453-6, 2013.
192	Yamazaki H	放射線医学	Frequency, outcome and prognostic factors of carotid blowout syndrome after hypofractionated re-irradiation of head and neck cancer using CyberKnife: A multi-institutional study.	Radiother Oncol 107:305-9, 2013.
193	Yamazaki H	放射線医学	Feasibility trial for daily oral administration of the hypoxic sensitizer AK-2123 (Sanazole) in radiotherapy.	Anticancer Res 33: 643-6, 2013.
194	Yamazaki H	放射線医学	Exceptionally high incidence of grade 2-3 late rectal toxicity in patients with prostate cancer receiving hypofractionated (2.2 Gy) soft tissue matched image-guided intensity-modulated radiotherapy.	Anticancer Research 33: 5507-10, 2013.

195	Yamazaki H	放射線医学	Japanese Radiation Oncology study Group (JROSG). Patterns of radiotherapy practice for biliary tract cancer in Japan: results of the Japanese radiation oncology study group (JROSG) survey.	Radiat Oncol 8: 76, 2013.
196	Miura H	放射線医学	The role of divided injections of a sclerotic agent over two days in balloon-occluded retrograde transvenous obliteration for large gastric varices.	Korean J Radiol 14(3):439-445, 2013.
197	Takeuchi Y	放射線医学	prospective study of transcatheter arterial chemoembolization for unresectable hepatocellular carcinoma: an Asian cooperative study between Japan and Korea.	J Vasc Interv Radiol 24:490-500, 2013.
198	Takeuchi Y	放射線医学	A multi-institutional phase II trial of hepatic arterial infusion chemotherapy with cisplatin for advanced hepatocellular carcinoma with portal vein tumor thrombosis.	Cancer Chemother Pharmacol 72:463-470, 2013
199	Takeuchi Y	放射線医学	Phase II study of percutaneous transesophageal gastrotubing for patients with malignant gastrointestinal obstruction; JIVROSG-0205.	J Vasc Interv Radiol 24: 1011-1017, 2013.
200	Yamada K	放射線医学	Intracranial deep white matter lesions are associated with chronic kidney disease and cognitive impairment: A 5-year follow-up MRI study.	Arch Gerontol Geriatr 56: 55-60, 2013.
201	Yamada K	放射線医学	Detection of early neuronal damage in CADASIL patients by q-space MR imaging.	Neuroradiology. 55: 283-290, 2013.
202	Yamada K	放射線医学	Diagnostic performance of percutaneous lung biopsy using automated biopsy needles under CT-fluoroscopic guidance for ground-glass opacity lesions. Br J Radiol 86: 20120447, 2013. (Erratum in: Br J Radiol 86: 20139006, 2013.)	Br J Radiol 86: 20120447, 2013. (Erratum in: Br J Radiol 86: 20139006, 2013.)
203	Yamada K	放射線医学	Symptomatic deep venous thrombosis of the lower extremity in a pregnant woman successfully treated with endovascular procedures.	J Obstet Gynaecol Res 39: 1059-1064, 2013.
204	Yamazaki H	放射線医学	Feasibility Trial for Daily Oral Administration of the Hypoxic Sensitizer AK-2123 (Sanazole) in Radiotherapy.	Anticancer Res 33: 643-646, 2013.
205	Yamada K	放射線医学	Low vitamin and carotenoid levels are related to cerebral white matter lesions.	J Nutr Health Aging 17: 456-460, 2013.
206	Yamada K	放射線医学	Distribution of amyloid burden differs between idiopathic normal pressure hydrocephalus and Alzheimer's disease.	Neuroradiol J 26:41-46, 2013.
207	Terauchi R	放射線医学	Selective arterial embolization with gelatin particles for refractory knee hemarthrosis.	Diagn Interv Radiol 19: 423-426, 2013.
208	Yamada K	放射線医学	Temporal evolution in peritoneal hemorrhage as depicted by postmortem CT.	J Forensic Leg Med 20: 548-550, 2013.

209	Yamada K	放射線医学	Effects of chemotherapy on the brain in childhood: diffusion tensor imaging of subtle white matter damage.	Neuroradiology 55: 1251-1257, 2013.
210	Yamada K	放射線医学	White-Matter Hyperintensities Predict Delirium After Cardiac Surgery.	Am J Geriatr Psychiatry 21: 938-945, 2013.
211	Miura H	放射線医学	Usefulness of cone-beam computed tomography during balloon-occluded retrograde transvenous obliteration.	Minim Invasive Ther Allied Technol 22: 359-363, 2013.
212	Yamada K	放射線医学	Neural correlates of the components of the clock drawing test.	Int Psychogeriatr 25: 1317-1323, 2013.
213	Sawa Teiji	麻酔科	The molecular mechanism of acute lung injury caused by Pseudomonas aeruginosa: from bacterial pathogenesis to host response.	J Intensive Care 2:10, 2014.
214	Amaya Fumimasa	麻酔科	Tissue injury and related mediators of pain exacerbation.	CurrNeuropharmacol11(6): 592-7, 2013
215	Hashimoto Soshi	麻酔科	Evaluation of semi-quantitative scoring of Gramstaining or semi-quantitative culture for the diagnosis of ventilator-associated pneumonia:a retrospective comparison with quantitativeculture.	Journal of Intensive Care 1:2, 2013.
216	Nakayama Yoshinobu	麻酔科	The RACHS-1 risk category can be a predictor of perioperative recovery in Asian pediatric cardiac surgery patients.	J Anesth. 2013; 27:850-4
217	Ishii Sachiyo	麻酔科	Ultrasound-Guided Radial Artery Catheterization in Infants and Small Children.	PediatrCrit Care Med. 2013 Jun;14(5):471-3
218	Ogawa Satoru	集中治療部	Haemodilution-induced Changes in Coagulation and Effects of Haemostatic Components under Flow Conditions.	British Journal of Anaesthesia111:10 13-1023, 2013.
219	Ogawa Satoru	集中治療部	Influences of hemodilution and anticoagulation on anti-platelet P2Y12 therapy - In vitro whole blood perfusion model.	JCTVA 27: e69-71, 2013.
220	Yuko Kanbayashi	疼痛緩和医療部	Statistical identification of predictors for paclitaxel induced peripheral neuropathy in breast or gynaecological cancer patients	Anticancer Research33, 1153-1156, 2013
221	Yuko Kanbayashi	疼痛緩和医療部	Predictive Factors for Agitation Severity of yperactive Delirium in Terminally Ill Cancer Patients in a General Hospital Using Ordered Logistic Regression Analysis	Journal of Palliative Medicine, 1020-1025, 2013

222	Yutaka Hatano	疼痛緩和医療部	Oral Nutrition or the Ability to Speak:The Choice Faced by a Cancer Survivor	Journal of Pain and Symptom anagement 46 (3), 452-455, 2013
223	Yuko Kanbayashi	疼痛緩和医療部	Vaccination against and treatment of acute herpes zoster for prevention of post-herpetic neuralgia	Current Pain and Headache Reports17, 371-377, 2013
224	Yuko Kanbayashi	疼痛緩和医療部	Comentary on “Letter to the Editor for article titled Predictive Factors for Postherpetic Neuralgia using Ordered Logistic Regression Analysis	The Clinical Journal of Pain29 (12), 1098, 2013
225	Nohisa Yoshida	疼痛緩和医療部	Efficacy of Goshajinkigan for Oxaliplatin-Induced Peripheral Neuropathy in Colorectal Cancer Patients	Journal of Oncology 8, 2013
226	Yoshida H, et al	小児発達医学	PAX3-NCOA2 fusion gene plays a dual role in promoting the proliferation and inhibiting the myogenic differentiation of rhabdomyosarcoma cells.	Oncogene 2013 Nov 11. doi:10.1038/onc.2013.491. [Epub ahead of print]
227	Sugimoto S, et al	小児発達医学	Miglitol increases energy expenditure by upregulating uncoupling protein1 of brown adipose tissue and reduces obesity in dietary-induced obese mice	Nutrition& Metabolism 2014 Mar 26;11(1):14. doi: 10.1186/1743-7075-11-14
228	Sakamoto K, et al	小児発達医学	Acute lymphoblastic leukemia developing in a patient with Noonan syndrome harboring a PTPN11 germline mutation	J Pediatr Hematol Oncol2014 Mar;36(2):e136-9. doi: 10.1097/MPH.00000000000002.
229	Moroto M, et al	小児発達医学	Altered somatosensory barrel cortex refinement in developing brain of methyl-CpG binding protein 2-null mice	Brain Research 2013 Nov 6;1537:319-26. doi: 10.1016/j.brainres.2013.09.017
230	Morioka S, et al	小児発達医学	Effects of chemotherapy in the childhood brain: diffusion tensor imaging of subtle white matter damage	Neuroradiology 2013 Oct;55(10):1251-7. doi: 10.1007/s00234-013-1245-7.
231	Asai D, et al	小児発達医学	IKZF1 deletion is associated with a poor out	Cancer Medicine 2013 Jun;2(3):412-9. doi: 10.1002/cam4.87.
232	Suzuki Chinatsu	小児循環器・腎臓学	Utility of whole-blood aggregometry for evaluating anti-platelet therapy for Kawasaki disease.	Pediatrics International. 2013 Oct;55(5):550-4.
233	Kawai Yoko	小児循環器・腎臓学	Spontaneous thrombotic obstruction of aneurysmal coronary arteriovenous fistula.	PediatrCardiol. 2013 Oct;34(7):1746-8.
234	Itoi Toshiyuki	小児循環器・腎臓学	Noninvasive estimation of central venous pressure after Fontan procedure using biochemical markers and abdominal echography.	Journal of Thoracic Cardiovascular Surgery. 146(1): 153-157, 2013

235	Itoi Toshiyuki	小児循環器・腎臓学、 花ノ木医療福祉センター	Modulation of C(16:0) -ceramide in hypertrophied immature hearts by losartan.	Pediatric International55 (3): 272-276, 2013
236	Itoi Toshiyuki	小児循環器・腎臓学	Stenting as a possible new therapeutic strategy to the obstructed TAPVC	Journal of Cardiology Case. 8(2): e93-e94, 2013
237	Nishida Masashi	小児循環器・腎臓学	The Apelin-APJ system: its role in renal physiology and potential therapeutic applications for renal disease.	OA Nephrology 2013 May 01;1(1):7.
238	Hamaoka- Okamoto Akiko	小児循環器・腎臓学	The involvement of the vasa vasorum in the development of vasculitis in animal model of Kawasaki disease.	Pediatr Rheumatol Online Journal. 2014;12(1):12
239	Yahata Tomoyo	小児循環器・腎臓学	Platelet activation dynamics evaluated using platelet-derived microparticles in Kawasaki disease.	Circulation Journal. 2014;78(1):188-93
240	Kimura, Osamu	小児外科	Impact of our new protocol on the outcome of the neonates with congenital diaphragmatic hernia	Pediatric Surgery International 29: 335-339, 2013
241	Fumino, Shigehisa	小児外科	Clinical analysis of liver fibrosis in choledochal cyst	Pediatric Surgery International 29: 1097-1102, 2013
242	Masaru Nishigaki	歯科	β -cryptoxanthin regulates bone resorption related-cytokine production in human periodontal ligament cells.	Arch Oral Biol. 2013. 58(7):880-886.
243	Inaba T, et al.	臨床検査部	Atypical lymphocytosis in vitreous fluid from a patient with herpetic endophthalmitis.	Int J Lab Hematol doi:10.1111/ijlh.12111, 2013
244	Inaba T, et al.	臨床検査部	Characteristic scattergram of white blood cells obtained using the Pentra MS CRP hematology analyzer in a patient with neutral lipid storage disease	Lab Hematol 19;27-29, 2013
245	Inaba T, et al.	臨床検査部	Hemolytic anemia with fragmented red blood cells following vascular access grafting for hemodialysis in a patient with chronic kidney disease	J Blood Disorders Transf 5:201. doi. 10.4172/2155-9864.1000201, 2014
246	Koizumi N.	細胞分子機能病理学 病院病理部	Detection of metastatic lymph node using 5-aminolevulinic acid in patients with gastric cancer.	Annals of Surgical Oncology. 20 (11) 3541-3548, 2013
247	Minamikawa T.	細胞分子機能病理学 病院病理部	Label-free detection of peripheral nerve tissues against adjacent tissues by spontaneous Raman microspectroscopy.	Histochemistry and cell biology . 139 (1) 181-193, 2013
248	Isohisa T.	皮膚科 病院病理部	Skin Infiltration of Nodal Peripheral T-Cell Lymphoma-not Otherwise Specified Identified by Skin Biopsy of Faint Eruptions.	Indian J Dermatol. 58 (3) 247, 2013

249	Harada K.	細胞分子機能病理学 病院病理部	Detection of lymph node metastases in human colorectal cancer by using 5-aminolevulinic acid-induced protoporphyrin IX fluorescence with spectral unmixing.	International journal of Molecular Sciences. 14 (11) 23140-12152, 2013
250	Kaoku S.	病院病理部	Sonographic and Pathologic Image Analysis of Pure Mucinous Carcinoma of the Breast.	Ultrasound in medicine and biology. 39(7)1158-1167, 2013
251	Okukda K	病院病理部	Simple pathological examination technique for detection of cancer located at the surgical margin of the stomach.	Gastric Cancer. 17 (2) 281-286, 2014

小計 3

計 251

- (注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が申請の前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る)。
- 3 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。
- 4 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。
- 5 平成二十六年度中の業務報告において当該実績が七十件未満の場合には、平成二十六年度の改正前の基準による実績についても報告すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1				
2				
3				
4				
5				
～				

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを入力すること。
- 2 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。
- 3 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有 無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有 無
・ 手順書の主な内容 臨床研究の原則、目的、学長の業務、実施責任者の業務、審査委員会事務局の業務、講習の受講、データベースへの登録	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年 6 回

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
2 「③倫理審査委員会の開催状況」に係る報告については、平成二十六年度中の業務報告(25 年度実績)において開催実績が無い場合には、平成二十六年四月以降の実績を報告しても差し支えないこと(その場合には、その旨を明らかとすること)。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有 無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有 無
・ 規定の主な内容 ・ 利益相反管理の対象：企業からの寄附金や講演料、株式取得などで一定額以上のもの ・ 自己申告義務：定期申告(年 1 回)、臨床研究実施時申告 ・ 自己申告の対象者：教職員等(臨床研究実施の場合は大学に所属しない者を含む) ・ その他、利益相反回避の措置、不服申立て、秘密保持、個人情報の保護等について規定	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年 4 回 ※持ち回り委員会 1 回を含む

- (注) 「③利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況」に係る報告については、平成二十六年度中の業務報告(平成 25 年度実績)において開催実績が無い場合には、平成二十六年四月以降の実績を報告しても差し支えないこと(その場合には、その旨を明らかとすること)。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年 1 回
・ 研修の主な内容 「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針(案)～疫学研究・臨床研究倫理指針の改正～」 「再生医療等の安全性の確保等に関する法律について」	

- (注) 「①臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況」に係る報告については、平成二十六年度中の業務報告(平成 25 年度実績)において実施実績が無い場合には、平成二十六年四月以降の実績を報告しても差し支えないこと(その場合には、その旨を明らかとすること)。

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

各診療科において、専門医・認定医取得のための高度な医療知識・スキルを習得させる。
(プログラムは各科ごとに作成)

2 研修の実績

研修医の人数 208人

(注) 前年度の研修医の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
保田 宏明	消化器内科	助教 (学内講師)	22年	
松室 明義	循環器内科	助教 (学内講師)	28年	
玉垣 圭一	腎臓内科	助教 (学内講師)	17年	
竹村 佳純	呼吸器内科	助教	18年	
山崎 真裕	内分泌・糖尿病・代謝内科	助教 (学内講師)	18年	
古林 勉	血液内科	助教	12年	
山本 相浩	膠原病・リウマチ・アレルギー科	助教	13年	
尾原 知行	神経内科 (老年内科)	助教 (学内講師)	15年	
市川 大輔	消化器外科	講師	24年	
神田 圭一	心臓血管外科	講師	28年	
宮崎 隆子	小児心臓血管外科	助教	18年	
加藤 大志朗	呼吸器外科	講師	25年	
阪口 晃一	内分泌・乳腺外科	助教	19年	
伊藤 孝司	移植・一般外科	講師	16年	
古川 泰三	小児外科	講師	19年	
素輪 善弘	形成外科	助教	11年	
立澤 和典	脳神経外科	講師	20年	
金 郁喆	整形外科	病院教授	32年	
岩破 一博	産婦人科	准教授	35年	
秋岡 親司	小児科	講師	23年	
西田 眞佐志	小児循環器・腎臓科	講師	31年	
外園 千恵	眼科	講師	28年	
益田 浩司	皮膚科	講師	18年	
中西 弘之	泌尿器科	助教 (学内講師)	20年	
中野 宏	耳鼻咽喉科	講師	19年	
西村 伊三男	精神科・心療内科	講師	21年	
後藤 眞理子	放射線科	助教	13年	
小川 覚	麻酔科	助教	10年	
深澤 圭太	疼痛・緩和ケア科	助教	19年	
久保 俊一	リハビリテーション科	教授	36年	
金村 成智	歯科	病院教授	30年	
太田 凡	救急医療科	教授	26年	
小西 英一	病理診断科	講師	28年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
<ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容・研修の期間・実施回数・研修の参加人数
② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）
<ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容・研修の期間・実施回数・研修の参加人数
③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況
<ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容・研修の期間・実施回数・研修の参加人数

(注) 1 高度の医療に関する研修について記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。なお、平成二十六年度中の業務報告(平成 25 年度実績)においては、平成二十六年四月以降の実績(計画)を報告しても差し支えないこと(その場合には、その旨を明らかにすること)。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
管理責任者氏名	病院長 福居 顯二	
管理担当者氏名	事務部長 荒田 均	

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		診療情報管理室 各診療科外来 病棟 調剤室 フィルム庫 病院管理課	<ul style="list-style-type: none"> 平成20年1月から電子カルテシステムを導入し、電子データでの管理を行っている。 手術記録、看護記録、検査所見記録、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の経過記録の要約等は、カルテに整理して、診療情報管理室に保管。 通院・入院中のアクティブカルテについては、各診療科の外来・病棟で保管。 処方箋は調剤室に、エックス線写真はフィルム庫で保管。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	
	高度の医療の提供の実績	病院経営企画室	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	病院管理課	
	高度の医療の研修の実績	病院管理課	
	閲覧実績	病院管理課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	病院経営企画室	
入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	病院経営企画室 薬剤部		
第規一則 号第一に掲げる十 体一制第一 確項保各 の号状及び 第九條の 二十第一 項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全管理部	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染対策部	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全管理部	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療サービス課	

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則	院内感染のための指針の策定状況	感染対策部
	第一条	院内感染対策のための委員会の開催状況	感染対策部
	第十一条	従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染対策部
	第一項	感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染対策部
	各号及び	医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部
	第九条	従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
	第二十三号	医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
	第一項	医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
	第一号に掲げる	医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	医療機器管理部
	体制の	従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療機器管理部
	確保の	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療機器管理部
状況	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療機器管理部 医療安全管理部	

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
閲覧責任者氏名	病院管理課長 吉田 周史	
閲覧担当者氏名	病院管理課副課長 植田 哲史	
閲覧の求めに応じる場所	病院管理課 総務調整担当	
閲覧の手続の概要 閲覧請求者の住所、氏名、請求記録名、閲覧理由を聴取した上で、請求のあった記録を所管する部署から該当資料を取り寄せ、病院管理課内で閲覧に供する。		

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

(様式第 6)

規則第 1 条の 1 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<ul style="list-style-type: none">指針の主な内容：<ul style="list-style-type: none">安全管理のための基本的な考え方安全管理のための組織医療事故発生時の対応医療事故及びインシデント報告制度職員の教育・研修及び啓発患者相談窓口	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 1 2 回
<ul style="list-style-type: none">活動の主な内容：<ul style="list-style-type: none">安全管理のための指針の策定及び変更院内で発生した医療事故、インシデントの調査分析、再発防止策の立案・実施安全管理のための教育・研修及び啓発の検討	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 1 2 回
<ul style="list-style-type: none">研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none">ラテクスアレルギー災害時のトリアージ輸血関連のインシデントから考える患者誤認安全器材使用方法実習クレーム対応、接遇	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none">医療機関内における事故報告等の整備 (有・無)その他の改善のための方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none">医療安全のための院内調査ラウンドの実施職員間での情報共有と注意喚起のための、インシデント事例等を掲載した「医療安全管理部レター」の発行インシデント事例を記載した「医療管理部ファイル」の作成、供覧人工呼吸器のリスク管理のための、チームによる院内ラウンドの実施	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (1 名) ・ 無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (2 名) ・ 無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有・無
<ul style="list-style-type: none">所属職員： 専任 (1) 名 兼任 (7) 名活動の主な内容：<ul style="list-style-type: none">医療事故、インシデントに係る報告のとりまとめ医療事故、インシデントの発生原因の調査、分析安全対策の実施状況、医療事故発生時の対応状況に関する調査、確認、指導安全管理のための教育、研修の実施安全対策の推進	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有・無

(様式第 6)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<ul style="list-style-type: none">指針の主な内容： 院内感染対策に関する基本的な考え方<ul style="list-style-type: none">院内感染対策のための委員会その他の当該病院等の組織に関する基本的事項院内感染対策のための従事者に対する研修に関する基本方針感染症の発生状況の報告に関する基本方針院内感染発生時の対応に関する基本方針患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
<ul style="list-style-type: none">活動の主な内容： 感染症発生状況（対応状況も含む）<ul style="list-style-type: none">MRSA等耐性菌の発生状況報告（対応状況も含む）抗MRSA薬等の使用状況報告（適正使用に関する指導状況も含む）その他院内感染対策の推進に関する方策の検討	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年35回
<ul style="list-style-type: none">研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none">結核ノロウイルスインフルエンザ関連抗菌薬の適正使用MRSA感染対策	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none">病院における発生状況の報告等の整備その他の改善のための方策の主な内容： 医師部門に「感染対策推進医師」を、看護部門に「リンクナース」をそれぞれ配置している。 感染症情報やその対応について、院内主要会議でのアナウンスを行い電子メール配信や電子カルテシステムの掲示板の活用等の手段により随時周知徹底を図っている。 <p style="text-align: center;">(有・無)</p>	

(様式第 6)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 8 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>全職員対象 医薬品安全管理セミナー「診療・看護に活かす医薬品情報」 感染対策研修会「抗インフルエンザ薬」 部門別 新人看護職員対象「医薬品の取扱い」 手術室医師対象「麻薬・筋弛緩薬等の取扱い」 院外処方箋応需薬局対象「処方箋調剤に活かす臨床検査値」 等</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 (有・無)</p> <p>・ 業務の主な内容：</p> <p>業務手順書に基づく年 2 回の業務チェックと手順書の見直し</p>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>医薬品安全管理委員会 (月 2 回、第 2・4 火曜日) アクシデント事例、ヒヤリハット事例の共有化と過誤防止策の立案・決定</p>	

(様式第6)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年20回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>新規購入人工呼吸器の取扱い、ME機器概論、患者急変時の除細動器取扱い、患者監視装置、他 対象：医師(研修医)、看護師(新人採用時も含む)、病棟個別、OSCI対象看護師、他</p>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・ 計画の策定 (有・無)</p> <p>・ 保守点検の主な内容：</p> <p>院内4600台にわたる医療用電子機器の年間計画の策定を行い、特定保守管理機器の一部を製造販売会社に委託、他の汎用医療機器については院内MEセンター内で解析装置を主とした定期点検を実施している。</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>情報源としてPMDAの情報、メーカーからの不具合情報などとし、対象機器については医療安全管理部ならびに使用部署に直接連絡し、回収あるいは修理を実施している。情報については一元的に集約し結果についても検証している。</p>	

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類 (任意)

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有・無
<p>・評価を行った機関名: 日本医療機能評価機構 評価を受けた時期: 平成22年12月 (認定期間: 平成23年3月20日～平成28年3月19日)</p>	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
<p>・情報発信の方法、内容等の概要 病院ホームページに、本院の特定機能病院としての医療提供に係る特色、病院の理念・基本方針、各種指定の状況等について掲載し、情報発信を行っている。 また、患者向け広報誌を発行 (年3回) し、院内での取組等について、定期的に情報発信を行っている。</p>	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	有・無
<p>・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 外来では、消化器センター、循環器センター、呼吸器センターなど7つのセンターで、複数診療科が連携して診療対応に当たっている。</p>	